
山口県子どもの生活実態調査報告書

概要版

令和2年3月

山口県

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査の実施について	1
2. 配布・回収状況	1
3. 集計方法	1
4. 回答者の基本属性	1
5. 生活困難度について	3
第2章 生活困難の状況	5
1. 家計の状況	5
2. 子どもの生活水準	6
3. 子どもの食と栄養	8
第3章 子どもの学び	9
1. 学校の成績	9
2. 授業の理解や学習の状況	9
3. 学校外での学習・勉強の状況	10
4. 将来の夢	11
5. 子どもに受けさせたい教育段階とその理由	12
第4章 子どもの日常生活	14
1. 友だち	14
2. 朝食を一緒に食べる人	14
3. 平日の放課後に過ごす場所	14
4. 活動の状況	14
5. 各種経験状況	16
6. 居場所関連などの支援施策の利用意向	17
第5章 子どもの健康と自己肯定感	18
1. 子どもの健康状態	18
2. 自己肯定感	20
第6章 子育てと各種制度・サービス	23
1. 子育てにかかる費用	23
2. 就学援助	26
3. 子どもとの関わり頻度	27
4. 制度・サービスの利用	31
5. 相談	38
第7章 保護者の状況	43
1. 回答者・保護者の状況	43
2. 子どものいる世帯の状況	47
3. 保護者の就業状況	47

第1章 調査概要

1. 調査の実施について

(1) 調査の目的

本調査は、子どもと子育て家庭の生活実態を調査し、その結果を山口県の児童育成・子育て支援策の検討資料として活用するため、県全体の子どもの生活実態や学習環境等に関する調査を実施しました。

(2) 調査対象と調査方法

本調査は、県内の小学校・中学校に通う小学校5年生・中学校2年生及びその保護者を対象に、令和元年11月18日（月）～12月2日（月）に実施しました。

調査票は、小学校5年生用・中学校2年生用・保護者用の3種で実施しました。

2. 配布・回収状況

調査対象区分		配布数(件)	有効回答数(件)	回収率(%)
小学校5年生	子ども	2,000	1,875	93.8
	保護者	2,000	1,876	93.8
中学校2年生	子ども	2,004	1,825	91.1
	保護者	2,004	1,829	91.3

3. 集計方法

- 集計は自治体の回収率の違いを調整するための統計的な処理に基づく集計（ウェイト付き集計）をしています。このため、合計が100%にならない場合があります。
- 子ども票・保護者票の各設問について、単一回答を帯グラフで、複数回答を棒グラフで示しています。
- 調査項目により、回答者が限定される場合は保護者の回答数と子どもの回答数は異なる場合があります。
- 単一回答の設問の回答等では、図表中の各項目の比率が小数点2位を四捨五入して小数点1位表示をしており、合計が100%にならない場合があります。
- 文章または図表において、選択肢を一部省略している場合があります。
- 生活困難度別のグラフは、子ども票・保護者票を紐づけした回答（世帯）で作成しています。また、グラフの項目で（H）は保護者の回答を示します。

4. 回答者の基本属性

(1) 子どもの性別

回答した小学校5年生の性別は、「男子」が48.4%、「女子」が47.7%、中学2年生では「男子」が47.4%、「女子」が48.0%となっています。

小学校5年生

問1 性別[%]				
全体	男子	女子	答えたくない	無回答
100.0	48.4	47.7	0.9	3.0

中学校2年生

問1 性別[%]				
全体	男子	女子	答えたくない	無回答
100.0	47.4	48.0	1.9	2.7

(2) 保護者

回答した保護者の子どもとの続柄は、小学校5年生で「母親」が91.1%、「父親」が7.4%、中学2年生では「母親」が90.2%、「父親」が7.6%となっています。

年齢は小学校5年生で「40～49歳」が56.9%、「39歳以下」が36.0%、中学2年生では「40～49歳」が67.3%、「39歳以下」が18.9%となっています。

回答した世帯の市町は、以下のとおりとなっています。

小学校5年生保護者

(H)問2 子どもとの続柄[%]								
全 体	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	施設職員	無回答
100.0	7.4	91.1	-	0.6	-	0.1	0.5	0.3

中学校2年生保護者

(H)問2 子どもとの続柄[%]								
全 体	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	施設職員	無回答
100.0	7.6	90.2	0.2	0.6	0.1	0.0	0.4	0.8

小学校5年生保護者

(H)問3 保護者の年齢[%]					
全 体	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
100.0	36.0	56.9	4.6	0.7	1.8

中学校2年生保護者

(H)問3 保護者の年齢[%]					
全 体	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
100.0	18.9	67.3	10.6	1.0	2.1

小学校5年生保護者

(H)問1 自治体[%]										
全 体	下関市	宇部市	山口市	萩市	防府市	下松市	岩国市	光市	長門市	柳井市
100.0	18.7	11.4	15.2	2.7	8.7	4.8	10.1	3.6	2.3	2.1
	美祢市	周南市	山陽小野田市	周防大島町	和木町	上関町	田布施町	平生町	阿武町	無回答
	1.5	10.7	4.4	0.6	0.6	0.1	1.2	0.7	0.3	0.4

中学校2年生保護者

(H)問1 自治体[%]										
全 体	下関市	宇部市	山口市	萩市	防府市	下松市	岩国市	光市	長門市	柳井市
100.0	18.1	11.0	14.6	3.2	8.8	4.8	10.0	3.7	2.4	2.3
	美祢市	周南市	山陽小野田市	周防大島町	和木町	上関町	田布施町	平生町	阿武町	無回答
	1.7	10.4	4.7	0.6	0.6	0.1	1.3	0.9	0.1	0.7

5. 生活困難度について

(1) 本調査における「生活困難度」

本調査では、子どものいる家庭の「生活困難」を以下の3つの要素から考えました。

- A 低所得
- B 家計の逼迫
- C 子どもの体験や所有物の欠如

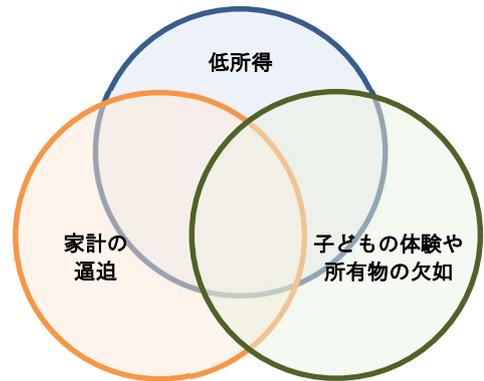
「A 低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標ですが、本調査においては、自記式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そこで、所得データを補完するために、「B 家計の逼迫」と「C 子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的剥奪指標を用います。物質的剥奪指標は、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻化が可能であることが欧州連合などを始め国内外の研究により判明しています。

A 低所得	<p>世帯所得(勤労収入、事業収入など+社会保障給付)を世帯人数の平方根で割り算した値(=等価世帯所得)が、厚生労働省「国民生活基礎調査」から算出される基準*未満の世帯を、「低所得」と定義します。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」(13.9%)と比較できません。</p> <p>*: 厚生労働省「平成30年国民生活基礎調査」(平成29年の所得)の世帯所得の中央値(423万円)を、平均世帯人数(平成29年国民生活基礎調査の2.47人)の平方根で除した値の50%である134.57万円を貧困線としている。</p>
B 家計の逼迫	<p>「家計の逼迫」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身の健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があるといわれています。そこで、家計の逼迫を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義します。</p> <p>具体的には、保護者票において過去1年間に、経済的な理由で電話、電気、ガス、水道、家賃などの料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」、「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったかの7つの項目のうち、「よくあった」または「時々あった」が1つ以上該当する場合を「家計の逼迫」があると定義します。</p>
C 子どもの体験や所有物の欠如	<p>上記AとBは、世帯全体の生活困難を表しますが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用います。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品です。</p> <p>具体的には、保護者票において過去1年間に、「海水浴に行く」、「博物館・科学館・美術館などに行く」、「キャンプやバーベキューに行く」、「スポーツ観戦や劇場に行く」、「遊園地やテーマパークに行く」ことが「経済的にできない」、「毎月お小遣いを渡す」、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「習い事(音楽、スポーツ、習字など)に通わせる」、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」、「お誕生日のお祝いをする」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」ことが「経済的にできない」、または「子どもの年齢に合った本」、「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が「経済的理由のために世帯にない」(全15項目)です。これらの項目のうち3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義します。</p>

【生活困難度による家庭の分類】

前述の「A 低所得」「B 家計の逼迫」「C 子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素の回答状況により、家庭を次のように分類しました。

生活困難層	困窮層＋周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
非生活困難層	いずれの要素にも該当しない



(2) 生活困難層の割合

「低所得」「家計の逼迫」「子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素のうち2つ以上に該当し、困窮層にあると思われる家庭が小学校5年生では 8.9%、中学校2年生では 11.0%、また、いずれか1つに該当するその周辺層までを含めた生活困難層にあると思われる家庭は小学校5年生では 25.3%、中学校2年生では 30.5%となっています。

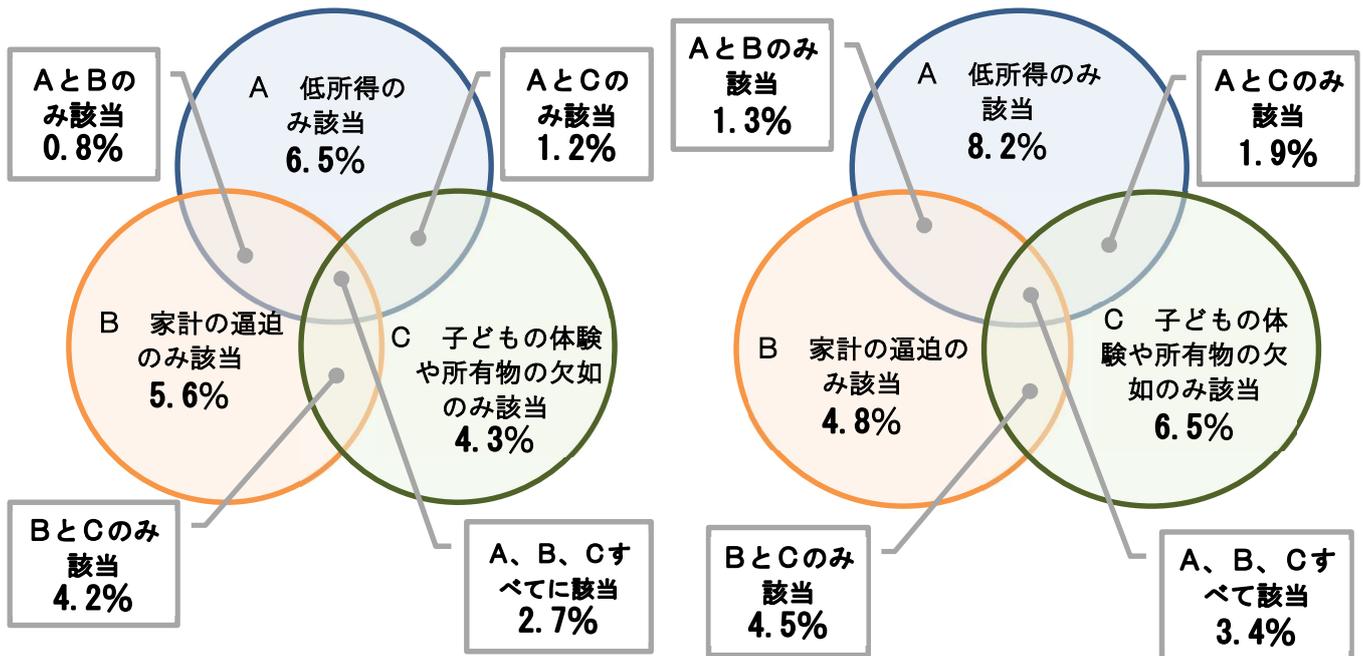
【生活困難層の割合】

区分	小学校5年生	中学校2年生
生活困難層	25.3%	30.5%
困窮層	8.9%	11.0%
周辺層	16.4%	19.5%
非生活困難層	74.7%	69.5%

※端数処理の関係で、内訳の計と合わない場合があります。

【生活困難層の内訳(小学校5年生)】

【生活困難層の内訳(中学校2年生)】



第2章 生活困難の状況

1. 家計の状況

(1) 食料が買えなかった経験

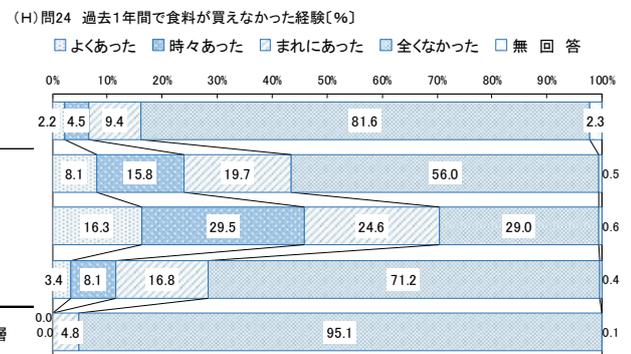
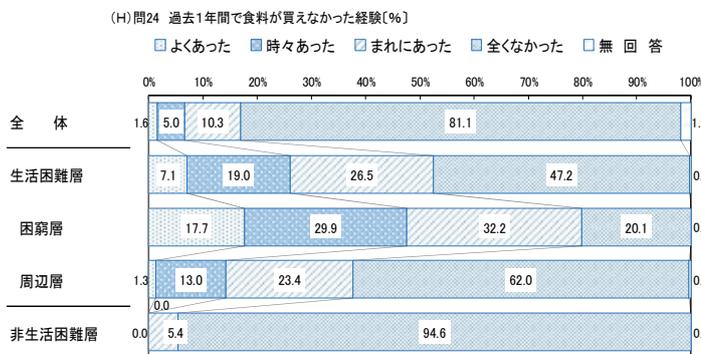
保護者設問：あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（問24）

小学校5年生では、「全くなかった」が81.1%を占める一方で、『経験がある』（「よくあった」「時々あった」の計、以下同様）が6.6%となっています。生活困難層で『経験がある』が26.1%となっています。

中学校2年生では、「全くなかった」が81.6%を占める一方で、『経験がある』が6.7%となっています。生活困難層で『経験がある』が23.9%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



(2) 衣類が買えなかった経験

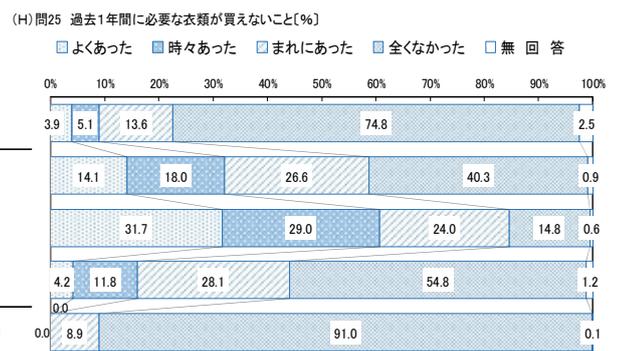
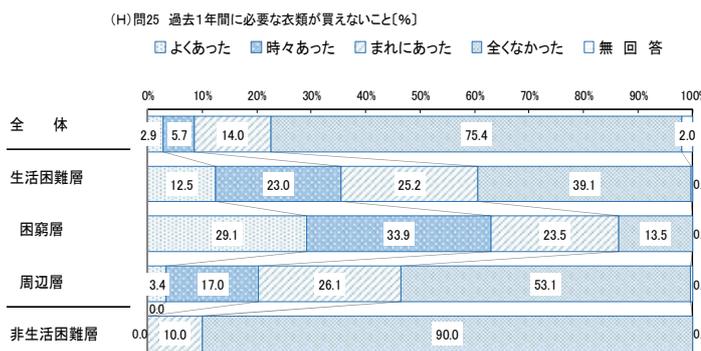
保護者設問：あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。（問25）

小学校5年生では、「全くなかった」が75.4%を占める一方で、『経験がある』が8.6%となっています。生活困難層で『経験がある』が35.5%となっています。

中学校2年生では、「全くなかった」が74.8%を占める一方で、『経験がある』が9.0%となっています。生活困難層で『経験がある』が32.1%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



(3) 公共料金などの滞納経験

保護者設問：過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（問26）

「住宅ローン」を除いたすべての項目において生活困難度による違いがみられ、非生活困難層では滞納経験がないのに対し、生活困難層ではすべての項目で1割以上、困窮層では2～3割の滞納経験がありました。なお、住宅ローンについては、周辺層や困窮層では、そもそも「該当しない（払う必要がない）」という割合が高くなっています。

(4) 物品などの所有状況（世帯にないもの）

保護者設問：次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。（問27-1）

「あてはまるものはない」が半数を占めるものの、生活困難層で「新聞の定期購読（ネットを含む）」、「急な出費のための貯金（5万円以上）」の回答が多くなっています。特に困窮層では、小学5年生・中学2年生ともに割合が6～7割台と回答が多くなっています。

2. 子どもの生活水準

(1) 所有物の状況

子ども設問：あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。（問4）

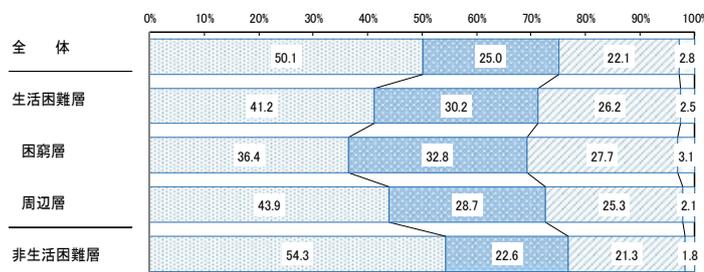
自分が使うことができる物品等の所有状況では、いくつかの項目を除いて、非生活困難層より生活困難層の所有率が低く、生活困難の度合が高まるほど低い傾向がみられます。なかでも「インターネットにつながるパソコン」に関しては、非生活困難層と生活困難層の間に15ポイント前後の差がみられます。

「インターネットにつながるパソコン」

小学校5年生

問4 C（自宅でインターネットにつながるパソコン〔%〕

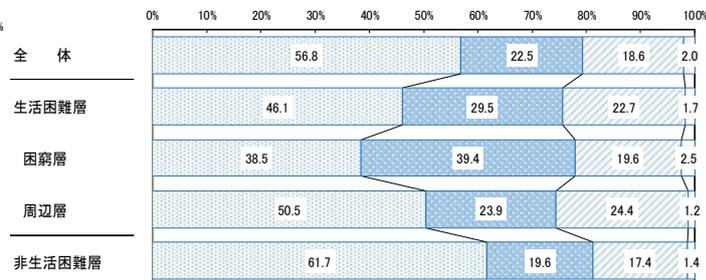
■ある ■ない(ほしい) ■ない(ほしくない) □無回答



中学校2年生

問4 C（自宅でインターネットにつながるパソコン〔%〕

■ある ■ない(ほしい) ■ない(ほしくない) □無回答



(2) 子どもへの支出

保護者設問：あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。（問 27）

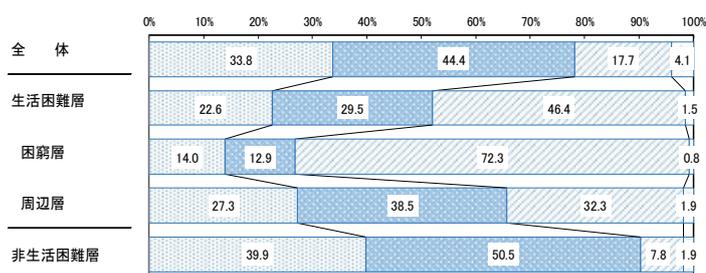
子どもへの支出状況は、「誕生日のお祝い」、「保護者の学校行事への参加」については、生活困難度別による回答に大きな違いはみられません。しかし、「学習塾に通わせる」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」は生活困難層で「経済的にできない」の回答割合が高くなっており、困窮層では7～8割となっています。

「学習塾に通わせる」

小学校5年生保護者

(H)問27 D 学習塾に通わせる[%]

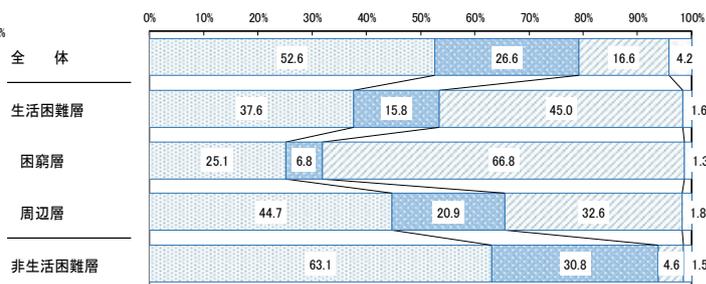
□している □したくない(方針ではない) □経済的にできない □無回答



中学校2年生保護者

(H)問27 D 学習塾に通わせる[%]

□している □したくない(方針ではない) □経済的にできない □無回答

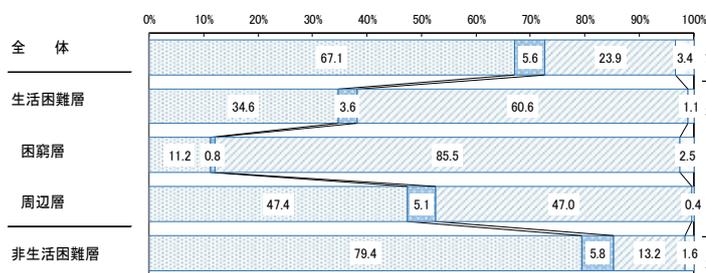


「1年に1回くらい家族旅行に行く」

小学校5年生保護者

(H)問27 F 1年に1回くらい家族旅行に行く[%]

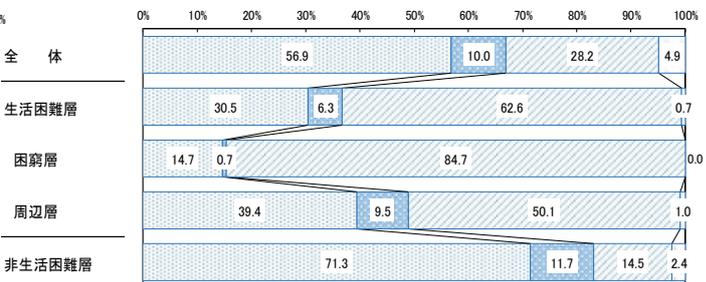
□している □したくない(方針ではない) □経済的にできない □無回答



中学校2年生保護者

(H)問27 F 1年に1回くらい家族旅行に行く[%]

□している □したくない(方針ではない) □経済的にできない □無回答



(3) 子どもの体験

保護者設問：あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。（問 22）

「海水浴に行く」、「博物館・科学館・美術館などに行く」、「キャンプやバーベキューに行く」、「スポーツ観戦や劇場に行く」、「遊園地やテーマパークに行く」のすべての項目で、生活困難層の「ある」の回答が少なくなっています。特に「スポーツ観戦や劇場に行く」、「遊園地やテーマパークに行く」では経済的な理由により、体験していない傾向が強くなりました。

3. 子どもの食と栄養

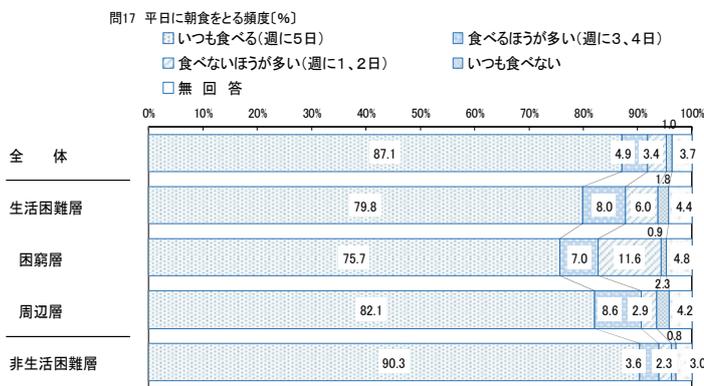
(1) 朝食の摂取状況

子ども設問：あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（問 17）

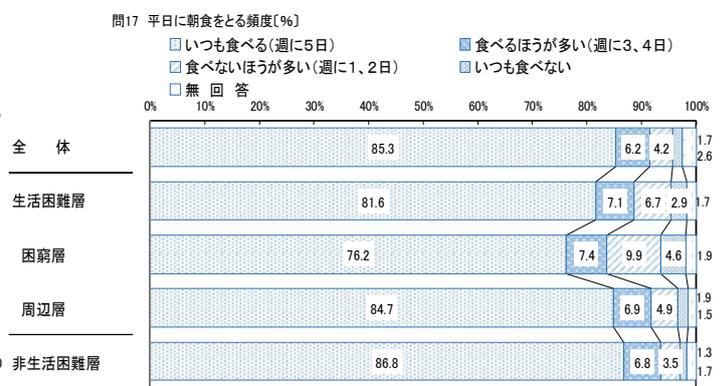
小学校5年生では、「いつも食べる（週に5日）」が 87.1%で、「いつも食べない」が 1.0%となっています。生活困難層で「いつも食べる（週に5日）」が 79.8%で、「いつも食べない」が 1.8%となっています。

中学校2年生では、「いつも食べる（週に5日）」が 85.3%で、「いつも食べない」が 1.7%となっています。生活困難層で「いつも食べる（週に5日）」が 81.6%で、「いつも食べない」が 2.9%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



(2) 栄養群の摂取状況

子ども設問：あなたは、給食をのぞいて、次の食物をふだんどれくらい食べますか。（問 20）

給食以外での「野菜」、「くだもの」、「肉や魚」の摂取頻度は、非生活困難層に比べ生活困難層で「毎日食べる」の回答が少なくなっています。

第3章 子どもの学び

1. 学校の成績

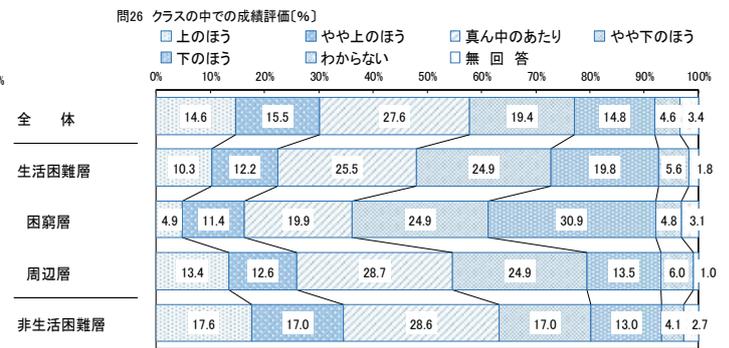
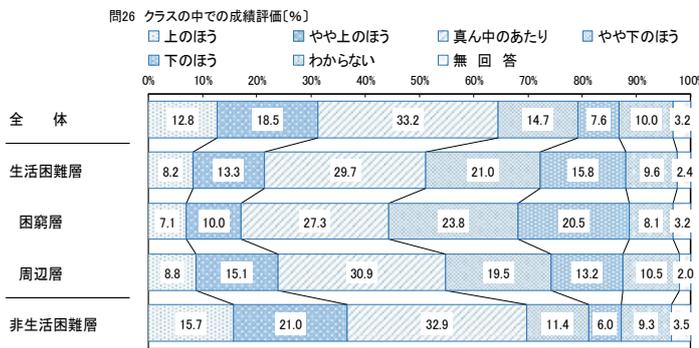
子ども設問：あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（問26）

小学校5年生では、「上のほう」が12.8%、「下のほう」が7.6%となっています。生活困難層で「上のほう」が8.2%で、「下のほう」が15.8%となっています。

中学校2年生では、「上のほう」が14.6%、「下のほう」が14.8%となっています。生活困難層で「上のほう」が10.3%で、「下のほう」が19.8%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



2. 授業の理解や学習の状況

(1) 授業の理解度

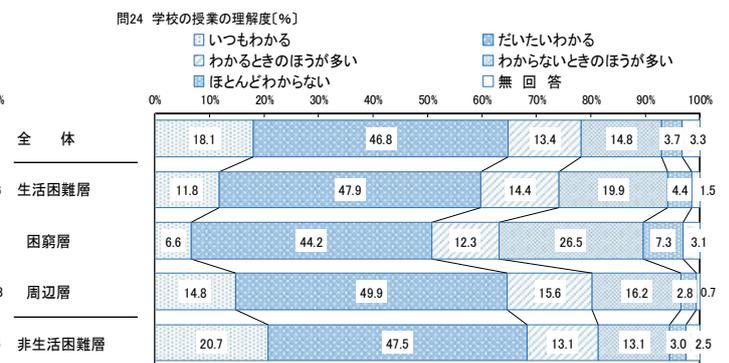
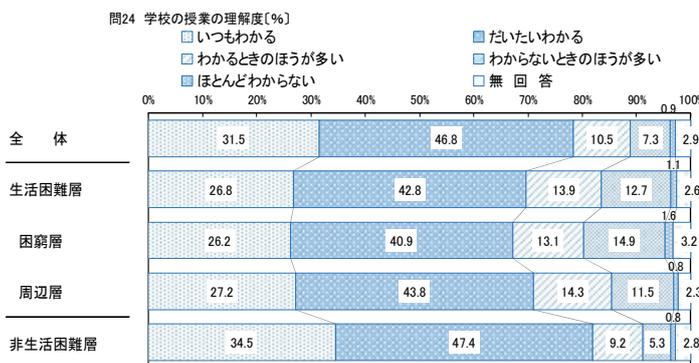
子ども設問：あなたは、学校の授業がわかりますか。（問24）

小学校5年生では、『わかる』（「いつもわかる」「だいたいわかる」の計、以下同様）が78.3%で、『わからない』（「わからないときのほうが多い」「ほとんどわからない」の計、以下同様）が8.2%となっています。生活困難層で『わかる』が69.6%、『わからない』が13.8%となっています。

中学校2年生では、『わかる』が64.9%で、『わからない』が18.5%となっています。生活困難層で『わかる』が59.7%、『わからない』が24.3%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



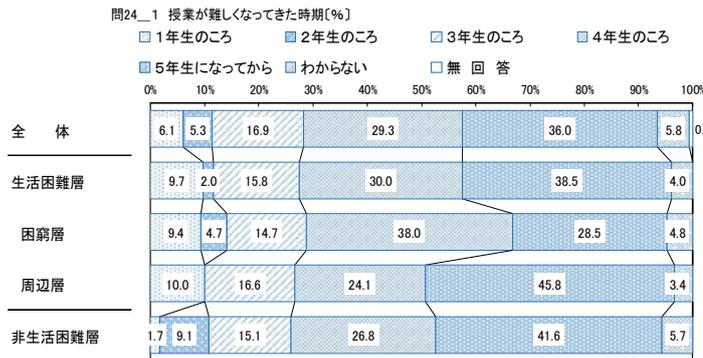
(2) 授業がわからなくなった時期

子ども設問：学校の授業が「4 わからないときのほうが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人 いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（問 24-1）

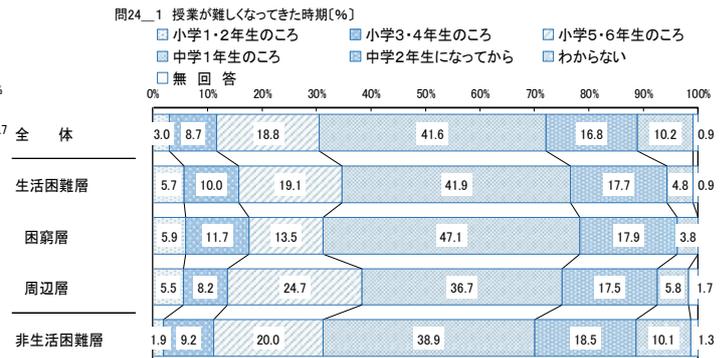
小学校5年生では、「5年生になってから」が36.0%で、「4年生のころ」が29.3%となっています。

中学校2年生では、「中学1年生のころ」が41.6%で、「小学5・6年生のころ」が18.8%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



(3) 勉強を教えてもらう人

子ども設問：勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。（問 25）

小学生5年生では、最も多いのは「親」が78.5%で、生活困窮層では70.8%となっています。

中学校2年生では、最も多いのは「友だち」で62.5%となっています。

3. 学校外での学習・勉強の状況

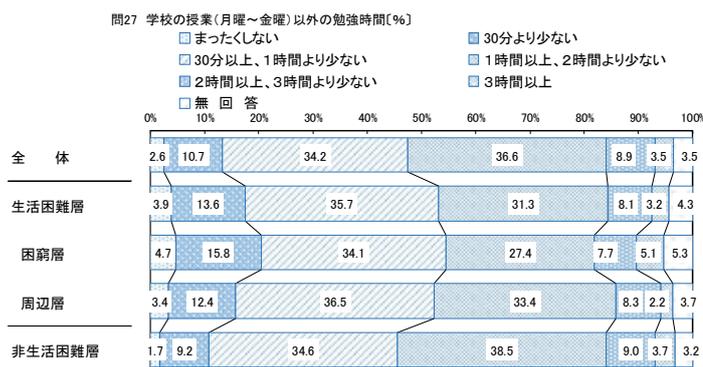
(1) 学校外での勉強時間

子ども設問：あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日当たりの勉強時間を教えてください。（問 27）

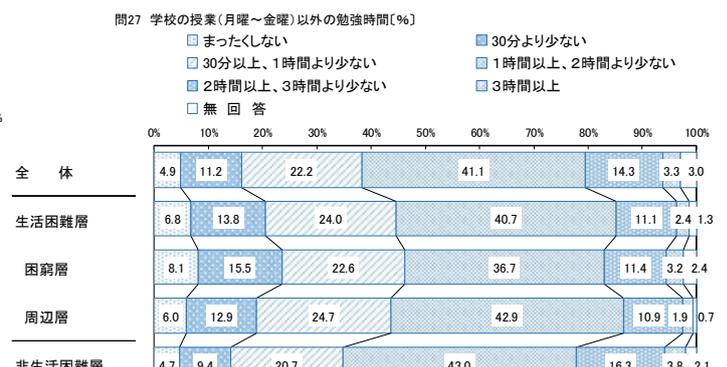
小学校5年生では、「まったくしない」が2.6%、『1時間以上』（「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」の計、以下同様）が49.0%となっています。生活困難層で「まったくしない」が3.9%、『1時間以上』が42.6%となっています。

中学校2年生では、「まったくしない」が4.9%で、『1時間以上』が58.7%となっています。生活困難層で「まったくしない」が6.8%で、『1時間以上』が54.2%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



(2) 学習塾・家庭教師の頻度

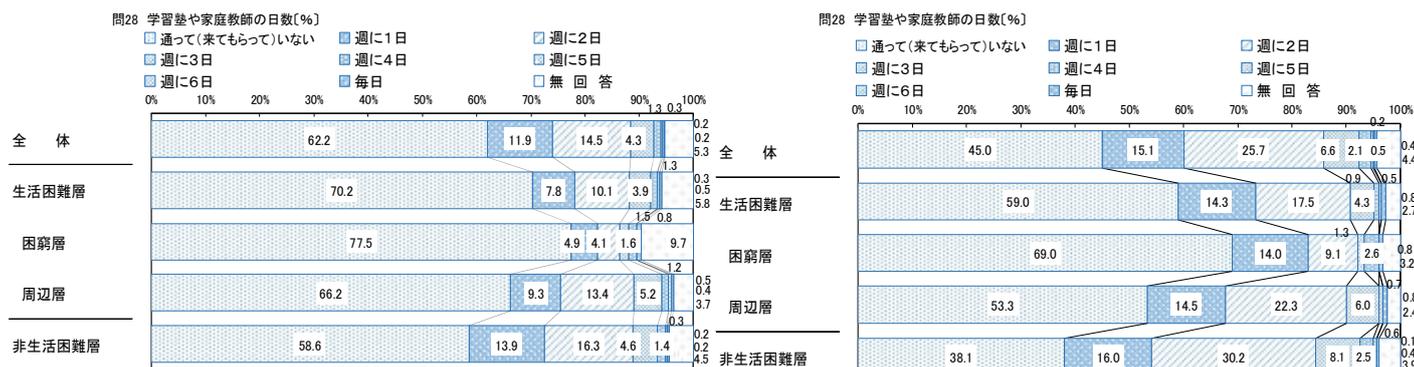
子ども設問：あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。（問28）

小学校5年生では、「通って（来てもらって）いない」が62.2%、生活困難層で70.2%となっています。

中学校2年生では、「通って（来てもらって）いない」が45.0%、生活困難層で59.0%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



4. 将来の夢

(1) 夢の有無と夢がない理由

子ども設問：あなたには、将来の夢やつきたい職業がありますか。（問5）

中学校2年生では、生活困難度による違いはみられませんが、小学校5年生の生活困難層で「ある」の回答が少なくなっています。

子ども設問：将来の夢やつきたい職業が「1 ある」と答えた人 その夢やつきたい職業は何ですか。（問5-1）

記入率は99%以上となっており、小学校5年生では、スポーツ選手、医療関係、教育関係、料理関係、動物関係、中学校2年生では、医療関係、教育関係、スポーツ選手、政府関係、動物関係が上位の回答となっています。

子ども設問：将来の夢やつきたい職業が「2 ない」と答えた人 夢やつきたい職業がない理由は何ですか。（問5-2）

生活困難度による大きな差はみられませんが、困窮層で「もうすべてに満足しているから」の回答が少し多くみられます。

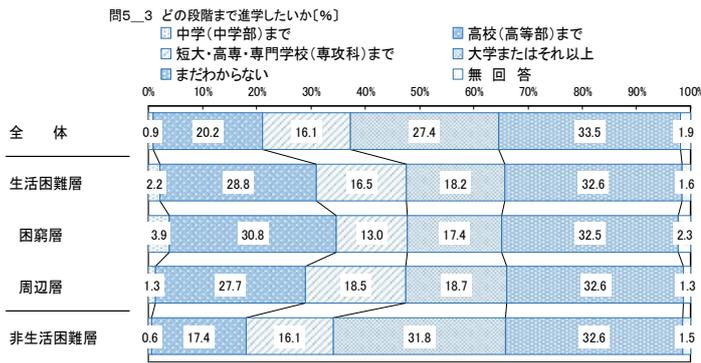
(2) 将来の進学希望

子ども設問：あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（問5-3）

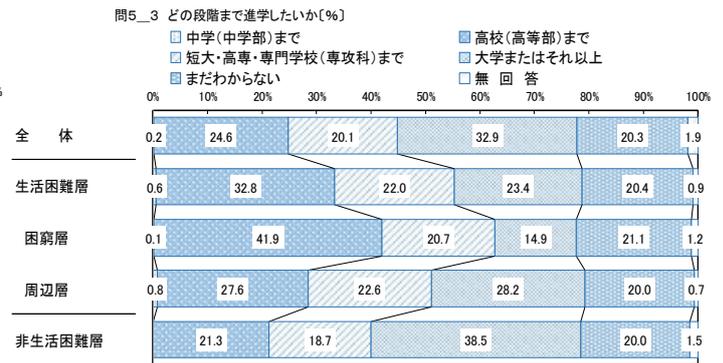
小学校5年生では、「大学またはそれ以上」が27.4%で、「高校（高等部）まで」が20.2%となっています。生活困難層で「大学またはそれ以上」が18.2%で、「高校（高等部）まで」が28.8%となっています。

中学校2年生では、「大学またはそれ以上」が32.9%で、「高校（高等部）まで」が24.6%となっています。生活困難層で「大学またはそれ以上」が23.4%で、「高校（高等部）まで」が32.8%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



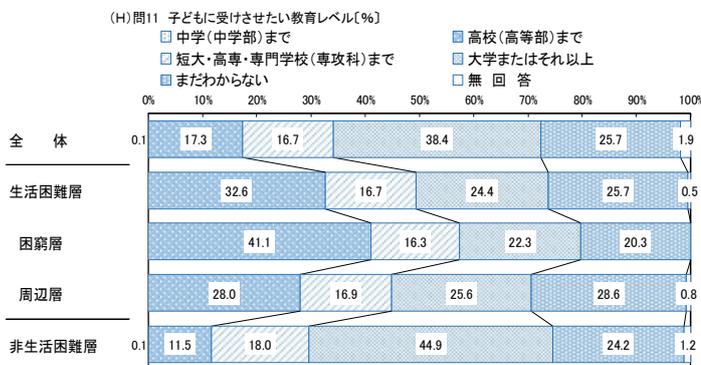
5. 子どもに受けさせたい教育段階とその理由

保護者設問：お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。（問11）

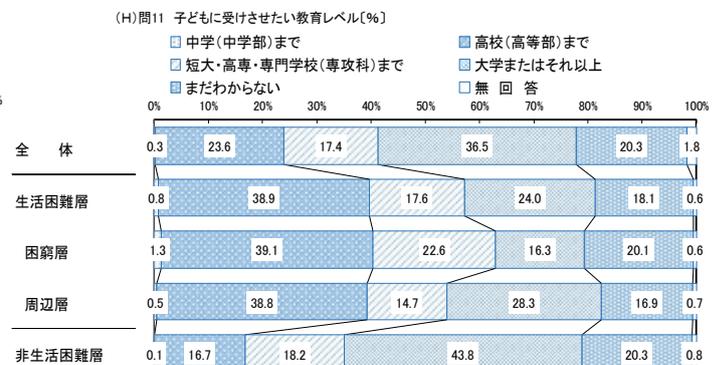
小学校5年生では、「大学またはそれ以上」が38.4%、「高校（高等部）まで」が17.3%となっています。生活困難層で「大学またはそれ以上」が24.4%で、「高校（高等部）まで」が32.6%となっています。

中学校2年生では、「大学またはそれ以上」が36.5%、「高校（高等部）まで」が23.6%となっています。生活困難層で「大学またはそれ以上」が24.0%で、「高校（高等部）まで」が38.9%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



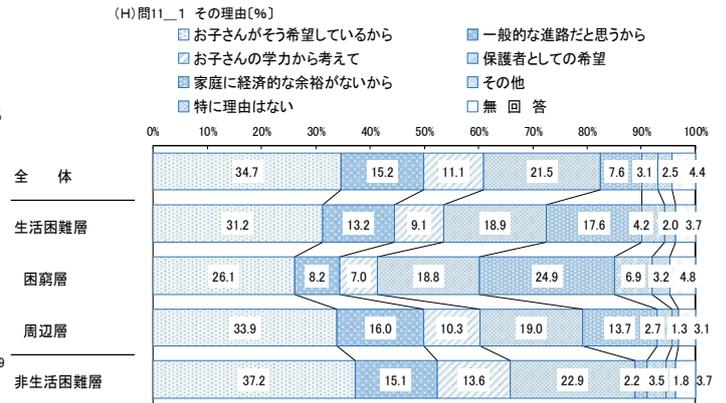
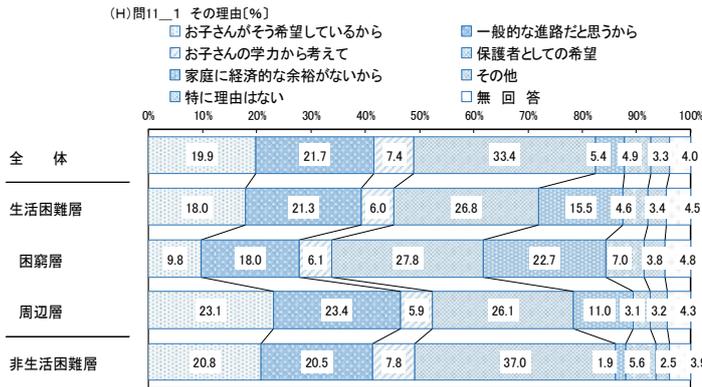
保護者設問：子どもに受けさせたい教育レベルで「5 まだわからない」以外を選んだ方 その理由は、何ですか。（問11-1）

小学校5年生では、「保護者としての希望」が33.4%、「家庭に経済的な余裕がないから」が5.4%となっています。生活困難層で「保護者としての希望」が26.8%で「家庭に経済的な余裕がないから」が15.5%となっています。

中学校2年生では、「お子さんがそう希望しているから」が34.7%、「家庭に経済的な余裕がないから」が7.6%となっています。生活困難層で「家庭に経済的な余裕がないから」が17.6%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



第4章 子どもの日常生活

1. 友だち

子ども設問：あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。（問7）

生活困難度による大きな差はみられませんが、「自分は友だちとくらべて違うと思う」の困窮層で「とてもそう思う」の回答が少し多くみられます。

2. 朝食を一緒に食べる人

子ども設問：あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。（問18）

生活困難度による大きな差はみられませんが、困窮層では、「家族（親）」の回答が少なく、小学5年生では「一人で食べる」、中学2年生では「朝ごはんは食べない」の回答が多くなっています。

3. 平日の放課後に過ごす場所

子ども設問：あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数を教えてください。（問9）

放課後を過ごす場所について、過ごす頻度が「毎日」という回答の割合は、小学校5年生では「自分の家」が最も多く、生活困難度に関係なく約5割となっています。中学校2年生では「学校」が約4割となり、困窮層では約3割と低下しています。

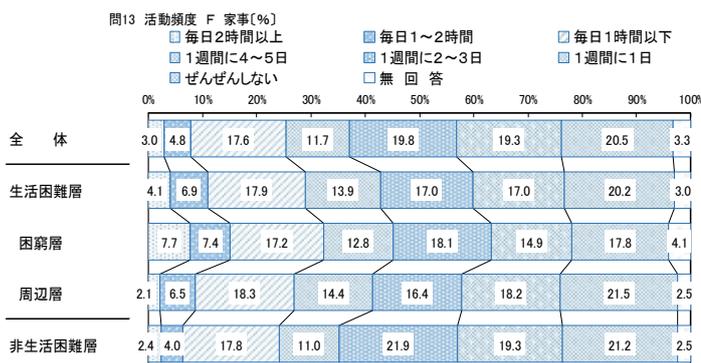
4. 活動の状況

(1) 活動の状況

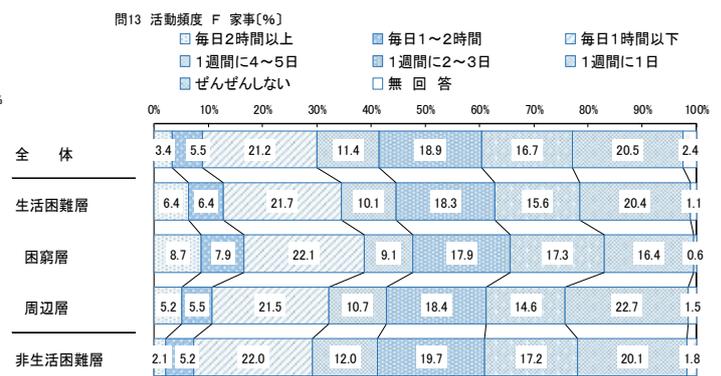
子ども設問：あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。（問13）

「ゲーム機（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む）で遊ぶ」は、非生活困難層に比べ、生活困難層で「毎日2時間以上」の回答が多く、困窮層では一層多くなります。一方、「家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）」、「兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」でも同様の傾向がみられることから、生活が困難な家庭においては、子どもたちが自分の時間を割いて、家事や家族の世話をしていることがうかがえます。

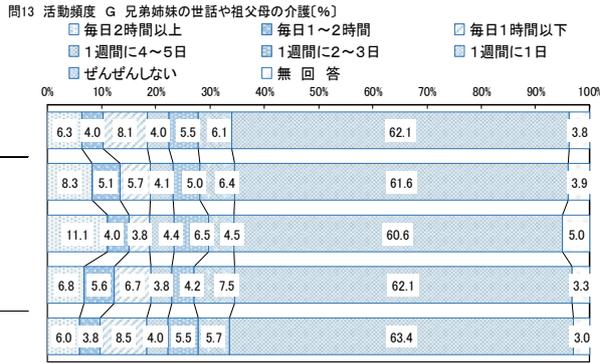
小学校5年生



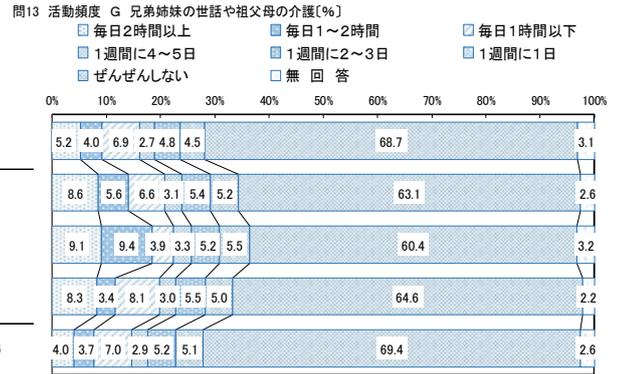
中学校2年生



小学校5年生



中学校2年生



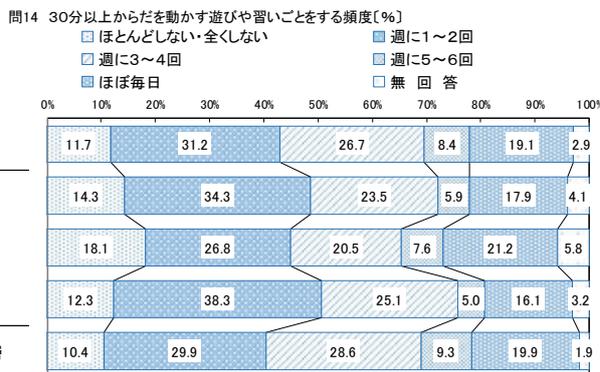
(2) 運動の状況

子ども設問：あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習いごとを、1週間でどれくらいしますか。(問14)

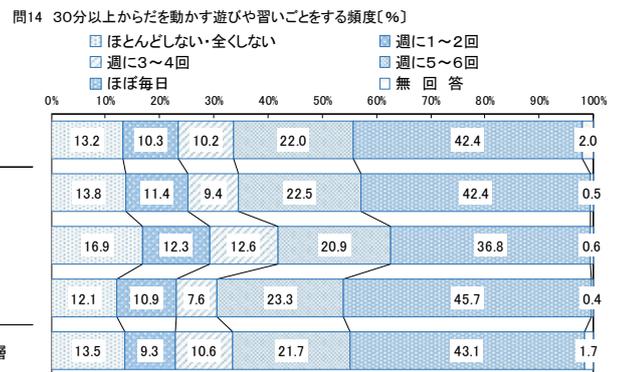
小学校5年生では、「週に1~2回」が31.2%で、「ほとんどしない・全くしない」が11.7%となっています。生活困難層で「ほとんどしない・全くしない」が14.3%となっています。

中学校2年生では、「ほぼ毎日」が42.4%で、「ほとんどしない・全くしない」が13.2%となっています。生活困難層で「ほとんどしない・全くしない」が13.8%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



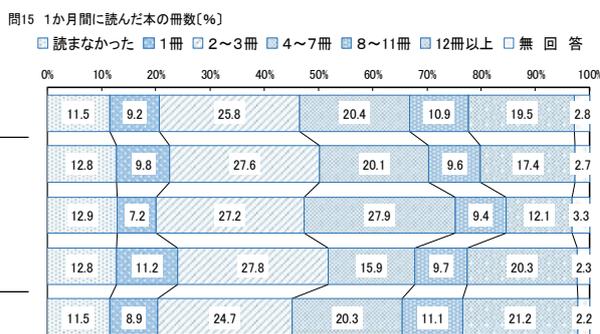
(3) 読書の状況

子ども設問：あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(問15)

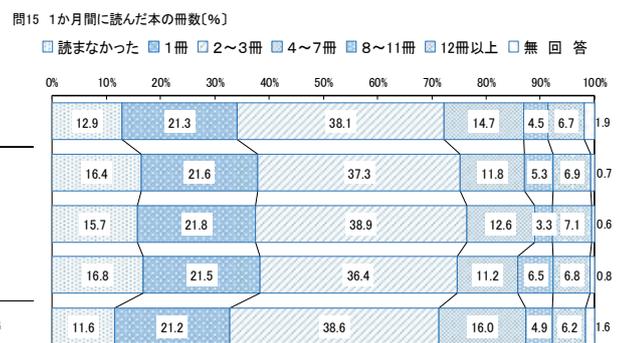
小学校5年生では、「2~3冊」が25.8%で、「読まなかった」が11.5%となっています。

中学校2年生では、「2~3冊」が38.1%で、「読まなかった」が12.9%となっています。生活困難層で「読まなかった」が16.4%となっています。

小学校5年生



中学校2年生



5. 各種経験状況

子ども設問：あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。（問30）

〔A 学校に行きたくないと思った〕

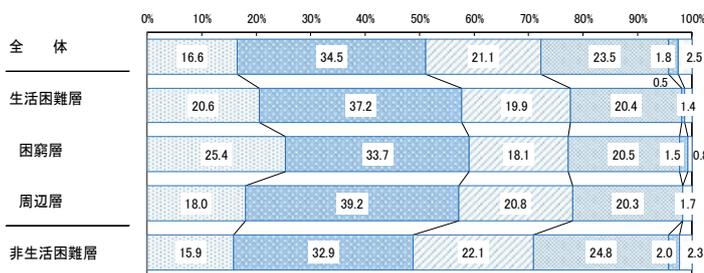
小学校5年生では、『あった』（「よくあった」「時々あった」の計、以下同様）が51.1%となっており、生活困難層で57.8%となっています。

中学校2年生では、『あった』が48.0%となっており、生活困難層で53.8%となっています。

小学校5年生

問30 A 学校に行きたくないと思った[%]

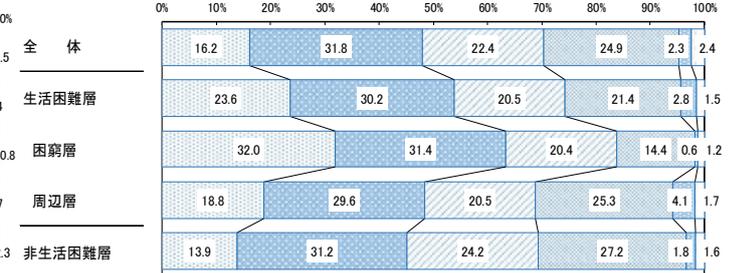
よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



中学校2年生

問30 A 学校に行きたくないと思った[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



〔B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）〕

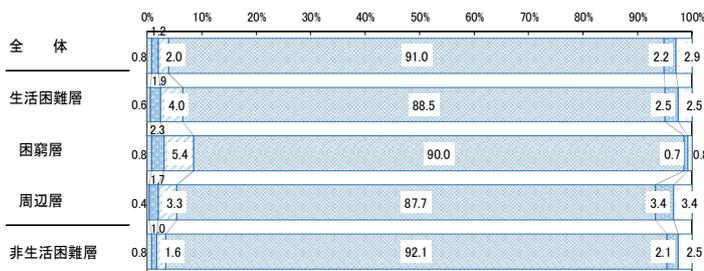
小学校5年生では、『あった』が2.0%となっており、生活困難層で2.5%となっています。

中学校2年生では、『あった』が2.5%となっており、生活困難層で5.6%となっています。

小学校5年生

問30 B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）[%]

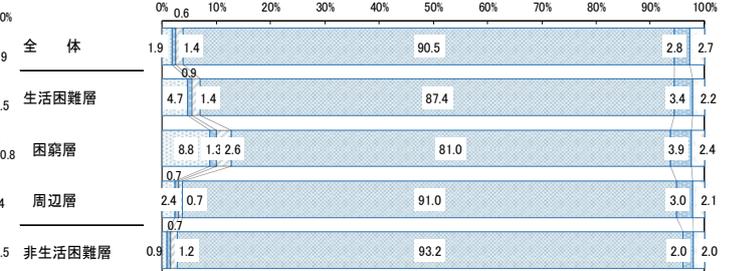
よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



中学校2年生

問30 B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



〔C 夜遅くまで子どもだけで過ごした〕

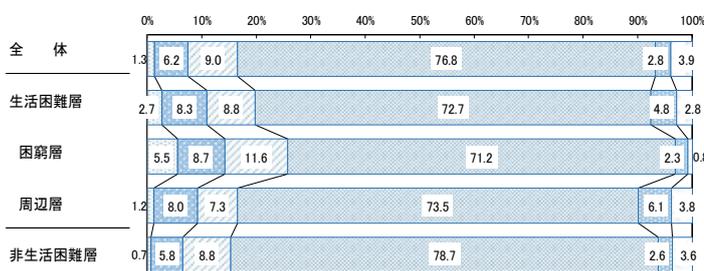
小学校5年生では、『あった』が7.5%となっており、生活困難層で11.0%となっています。

中学校2年生では、『あった』が9.8%となっており、生活困難層で11.7%となっています。

小学校5年生

問30 C 夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

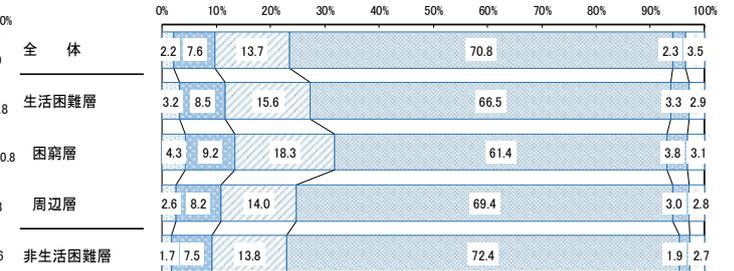
よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



中学校2年生

問30 C 夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



6. 居場所関連などの支援施策の利用意向

子ども設問：あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。（問31）

「（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所」と「（家以外で）休日にいることができる場所」は小学校5年生、中学2年生ともに生活困難層で「使ってみたい」の回答が多くなっています。

「家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」は小学5年生、「（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」は中学2年生の生活困難層で「使ってみたい」の回答が多くなっています。

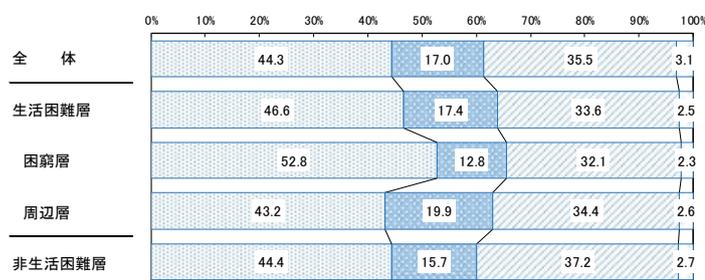
「家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」

小学校5年生

中学校2年生

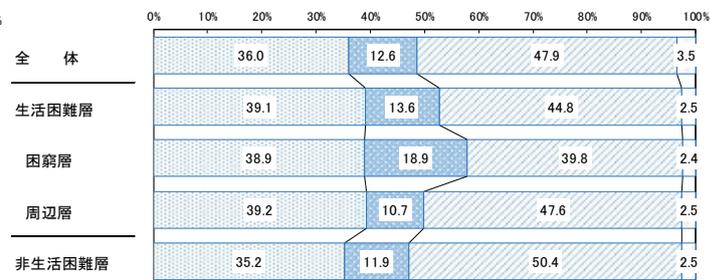
問31 C家の人がないとき、夕ごはんを皆で食べられる場所【%】

使ってみたい 使いたくない 使う必要はない 無回答



問31 C家の人がないとき、夕ごはんを皆で食べられる場所【%】

使ってみたい 使いたくない 使う必要はない 無回答



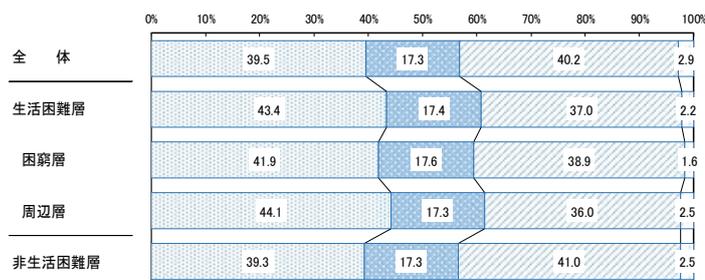
「（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」

小学校5年生

中学校2年生

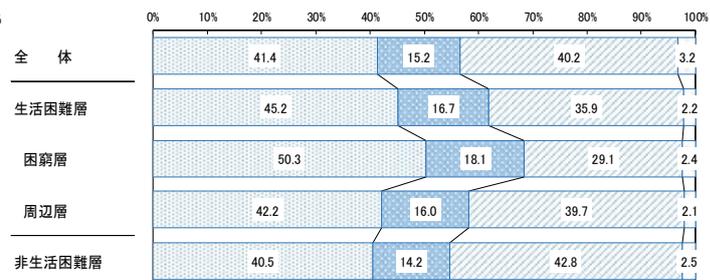
問31 F 学校以外でなんでも相談できる場所【%】

使ってみたい 使いたくない 使う必要はない 無回答



問31 F 学校以外でなんでも相談できる場所【%】

使ってみたい 使いたくない 使う必要はない 無回答



第5章 子どもの健康と自己肯定感

1. 子どもの健康状態

(1) 子どもの（主観的）健康状態

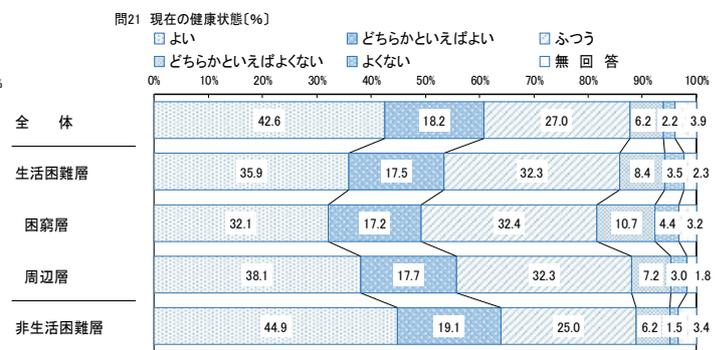
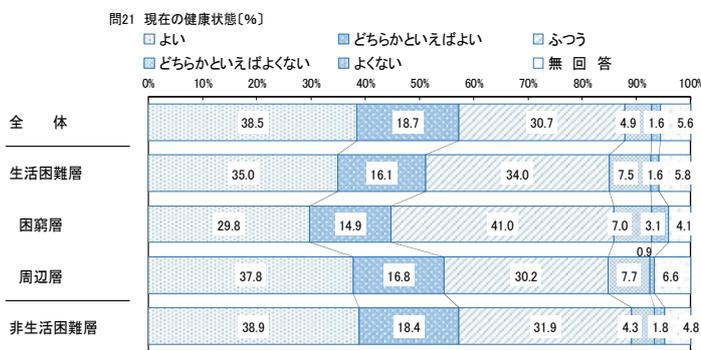
子ども設問：あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（問 21）

小学校5年生では、「よい」が 38.5%で、「よくない」が 1.6%となっています。生活困難層で「よい」が 35.0%となっています。

中学校2年生では、「よい」が 42.6%で、「よくない」が 2.2%となっています。生活困難層で「よい」が 35.9%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



(2) 保護者からみた子どもの健康状態

保護者設問：あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。（問 12）

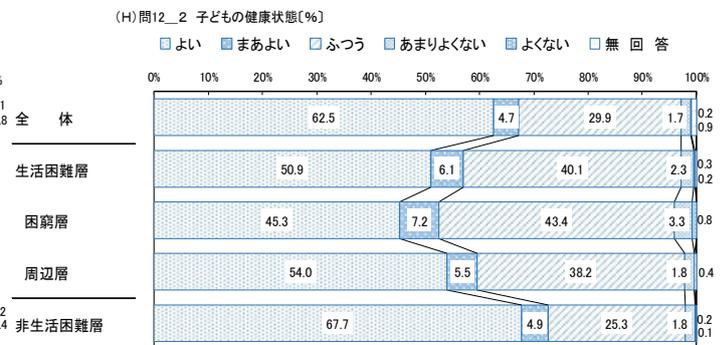
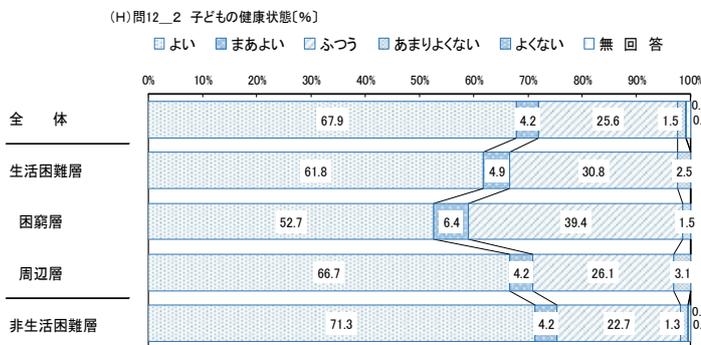
〔2 お子さんの健康状態〕

小学校5年生では、「よい」が 67.9%で、「ふつう」が 25.6%となっています。生活困難層で「よい」が 61.8%、「ふつう」が 30.8%となっています。

中学校2年生では、「よい」が 62.5%で、「ふつう」が 29.9%となっています。生活困難層で「よい」が 50.9%、「ふつう」が 40.1%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



(3) 子どもの医療機関受診抑制の経験とその理由

保護者設問：過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（問13）

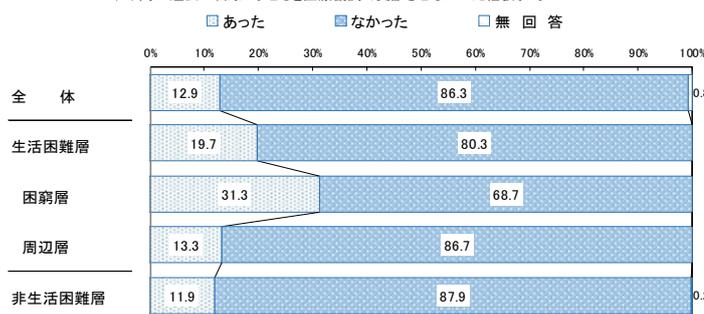
小学校5年生では、「あった」が12.9%で、「なかった」が86.3%となっています。生活困難層で「あった」が19.7%ですが、困窮層では31.3%となっています。

中学校2年生では、「あった」が12.0%で、「なかった」が86.8%となっています。生活困難層で「あった」が21.2%となっています。

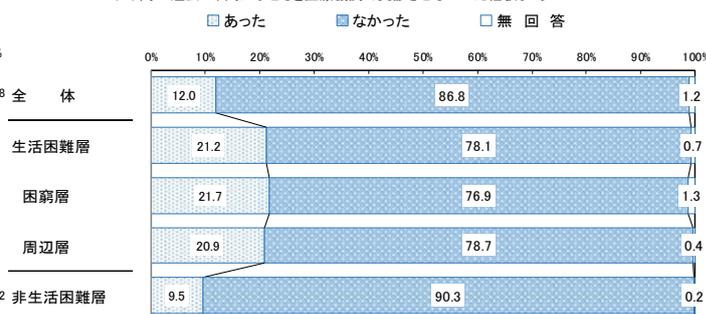
小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問13過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験[%]



(H)問13過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験[%]



保護者設問：お子さんを医療機関で受診させなかったことで「1 あった」を選んだ方 その理由は、何ですか。（問13-1）

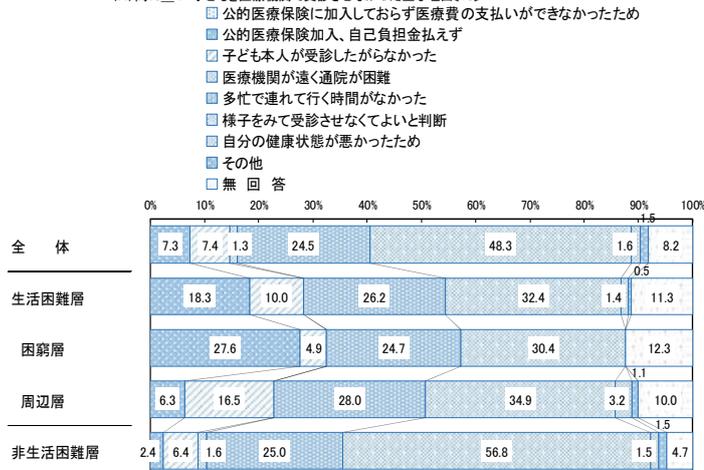
小学校5年生では、「様子を見て受診させなくてよいと判断」が48.3%で、「多忙で連れて行く時間がなかった」が24.5%となっています。生活困難層で「公的医療保険加入、自己負担金払えず」が18.3%となっています。

中学校2年生では、「様子を見て受診させなくてよいと判断」が40.7%で、「多忙で連れて行く時間がなかった」が27.1%となっています。生活困難層で「公的医療保険加入、自己負担金払えず」が15.8%となっています。

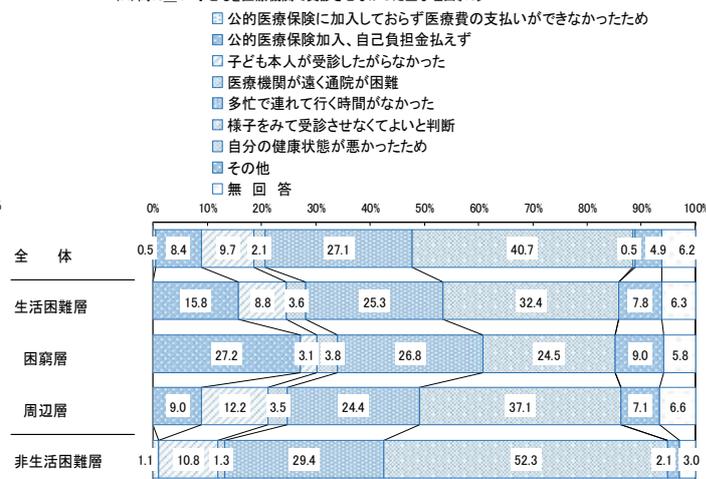
小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問13_1 子どもを医療機関で受診させなかった主な理由[%]



(H)問13_1 子どもを医療機関で受診させなかった主な理由[%]



2. 自己肯定感

子ども設問：あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものを教えてください。（問29）

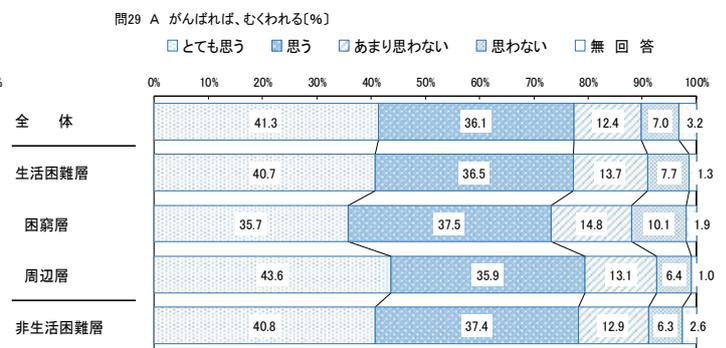
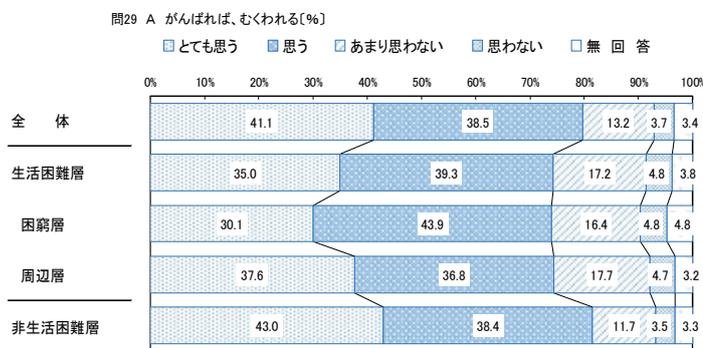
〔A がんばれば、むくわれる〕

小学校5年生では、『思う』（「とても思う」「思う」の計、以下同様）が79.6%で、『思わない』（「あまり思わない」「思わない」の計、以下同様）が16.9%となっています。生活困難層で『思う』が74.3%で、『思わない』が22.0%となっています。

中学校2年生では、『思う』が77.4%で、『思わない』が19.4%となっています。生活困難層で『思わない』が21.4%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



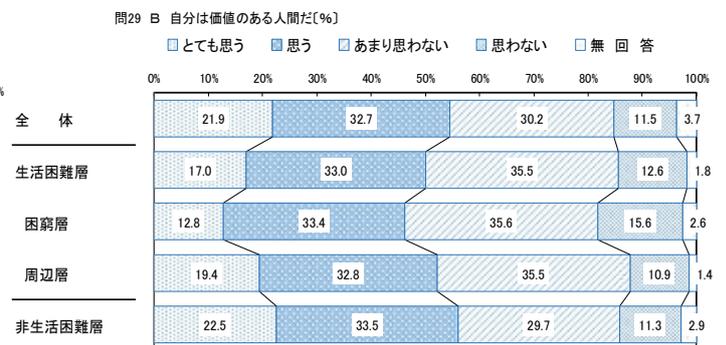
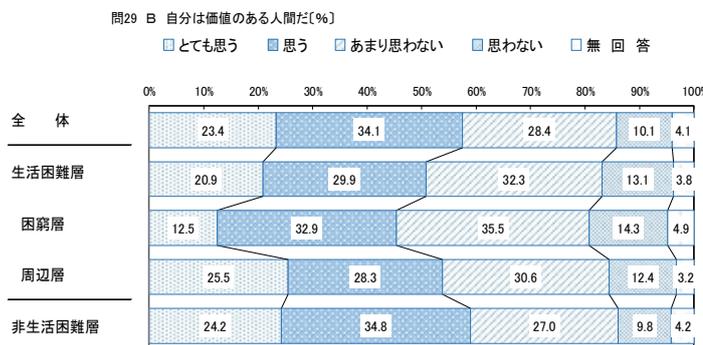
〔B 自分は価値のある人間だ〕

小学校5年生では、『思う』が57.5%で、『思わない』が38.5%となっています。生活困難層で『思う』が50.8%で、『思わない』が45.4%となっています。

中学校2年生では、『思う』が54.6%で、『思わない』が41.7%となっています。生活困難層で『思う』が50.0%で、『思わない』が48.1%となっています。

小学校5年生

中学校2年生



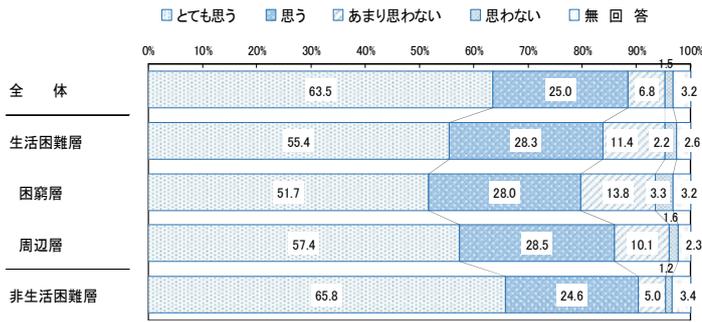
〔C 自分は家族に大事にされている〕

小学校5年生では、『思う』が88.5%で、『思わない』が8.3%となっています。生活困難層で『思う』が83.7%で、『思わない』が13.6%となっています。

中学校2年生では、『思う』が87.4%で、『思わない』が9.5%となっています。生活困難層で『思う』が85.2%で、『思わない』が13.2%となっています。

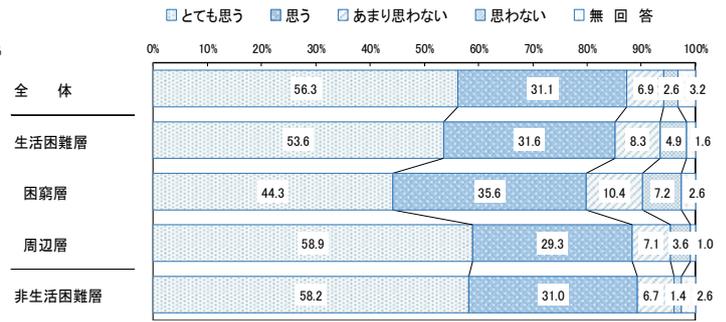
小学校5年生

問29 C 自分は家族に大事にされている【%】



中学校2年生

問29 C 自分は家族に大事にされている【%】



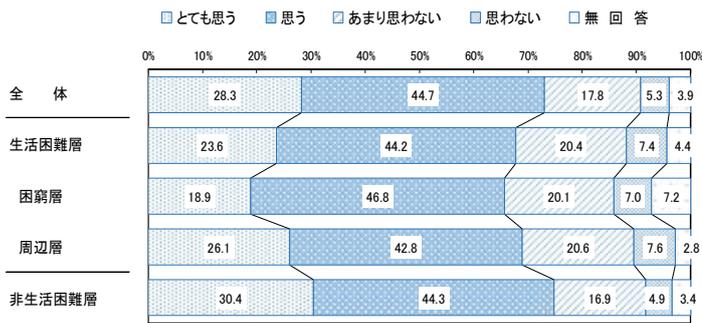
〔D 自分は友だちに好かれている〕

小学校5年生では、『思う』が73.0%で、『思わない』が23.1%となっています。生活困難層で『思う』が67.8%で、『思わない』が27.8%となっています。

中学校2年生では、『思う』が76.2%で、『思わない』が20.0%となっています。生活困難層で『思う』が75.2%で、『思わない』が23.0%となっています。

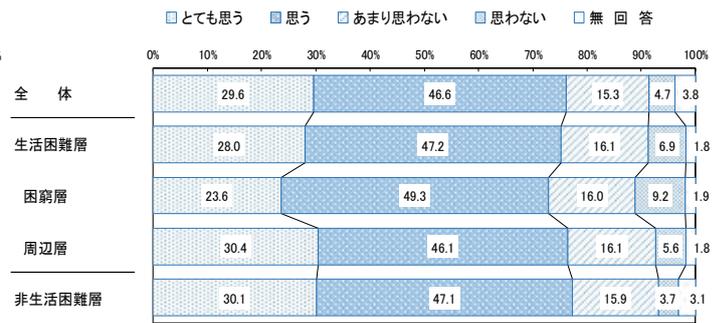
小学校5年生

問29 D 自分は友だちに好かれている【%】



中学校2年生

問29 D 自分は友だちに好かれている【%】



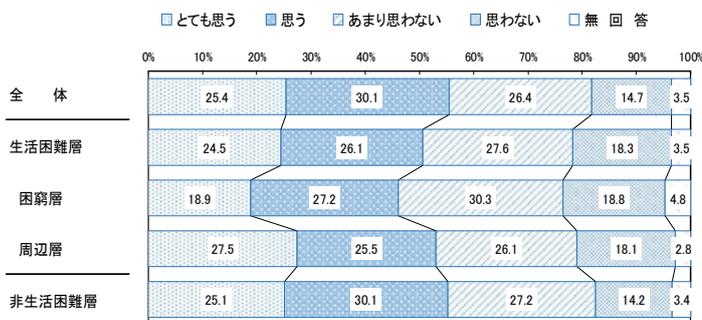
〔E 不安に感じることはない〕

小学校5年生では、『思う』が55.5%で、『思わない』が41.1%となっています。生活困難層で『思う』が50.6%で、『思わない』が45.9%となっています。

中学校2年生では、『思う』が49.2%で、『思わない』が47.5%となっています。生活困難層で『思う』が47.0%で、『思わない』が51.6%となっています。

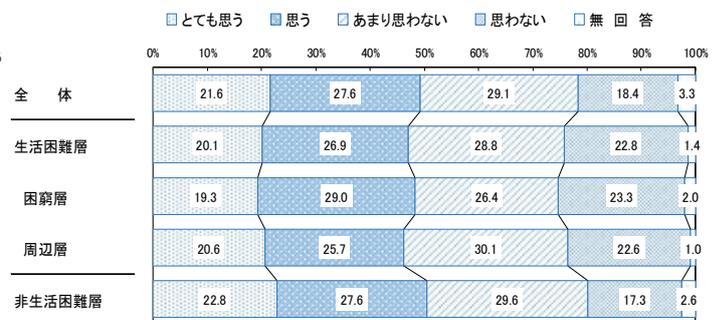
小学校5年生

問29 E 不安に感じることはない【%】



中学校2年生

問29 E 不安に感じることはない【%】



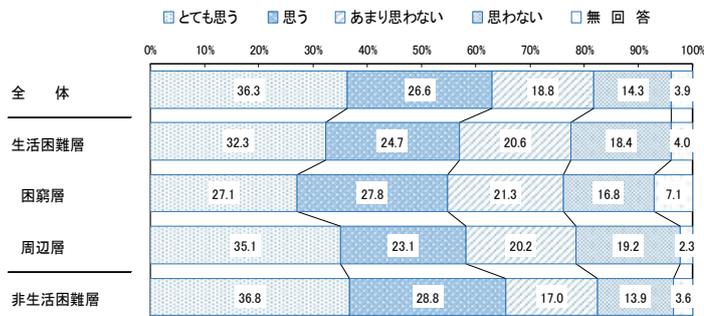
〔F 孤独を感じることはない〕

小学校5年生では、『思う』が62.9%で、『思わない』が33.1%となっています。生活困難層で『思う』が57.0%で、『思わない』が39.0%となっています。

中学校2年生では、『思う』が63.2%で、『思わない』が33.4%となっています。生活困難層で『思う』が60.9%で、『思わない』が37.0%となっています。

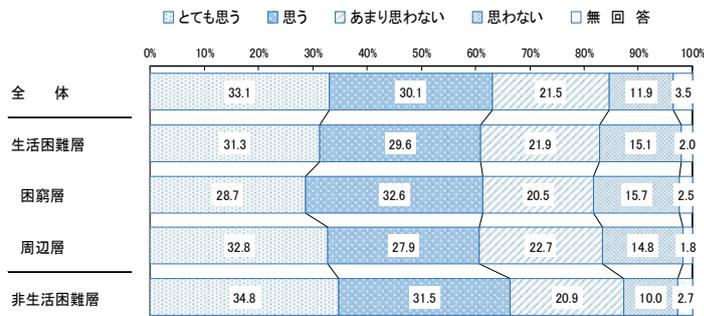
小学校5年生

問29 F 孤独を感じることはない[%]



中学校2年生

問29 F 孤独を感じることはない[%]



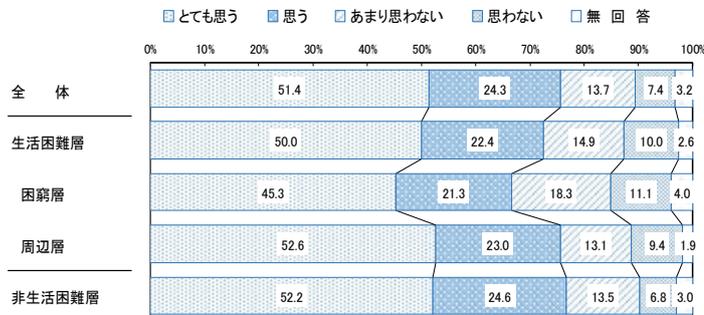
〔G 自分の将来が楽しみだ〕

小学校5年生では、『思う』が75.7%で、『思わない』が21.1%となっています。生活困難層で『思う』が72.4%で、『思わない』が24.9%となっています。

中学校2年生では、『思う』が58.8%で、『思わない』が38.0%となっています。生活困難層で『思う』が55.3%で、『思わない』が43.4%となっています。

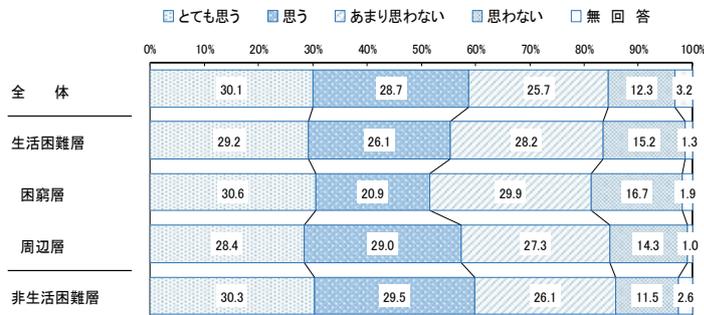
小学校5年生

問29 G 自分の将来が楽しみだ[%]



中学校2年生

問29 G 自分の将来が楽しみだ[%]



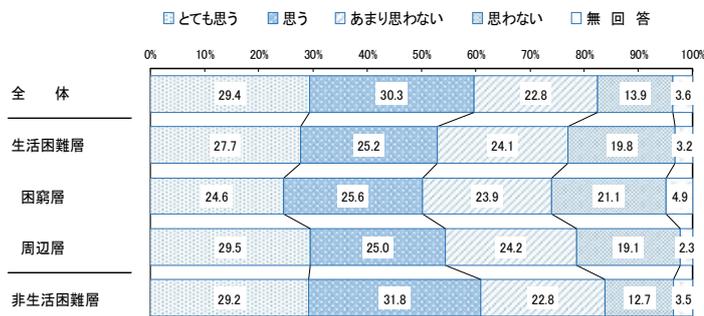
〔H 自分のことが好きだ〕

小学校5年生では、『思う』が59.7%で、『思わない』が36.7%となっています。生活困難層で『思う』が52.9%で、『思わない』が43.9%となっています。

中学校2年生では、『思う』が50.4%で、『思わない』が46.2%となっています。生活困難層で『思う』が45.0%で、『思わない』が53.7%となっています。

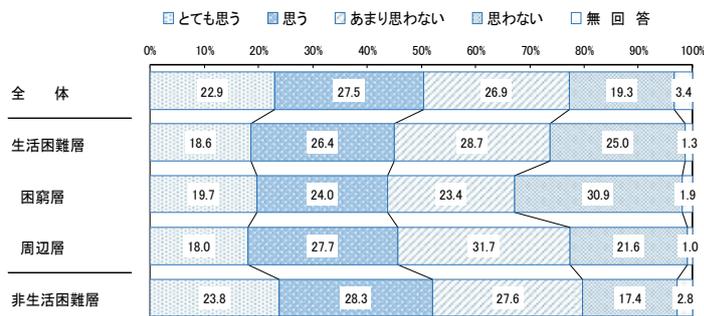
小学校5年生

問29 H 自分のことが好きだ[%]



中学校2年生

問29 H 自分のことが好きだ[%]



第6章 子育てと各種制度・サービス

1. 子育てにかかる費用

保護者設問：この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。（問16）

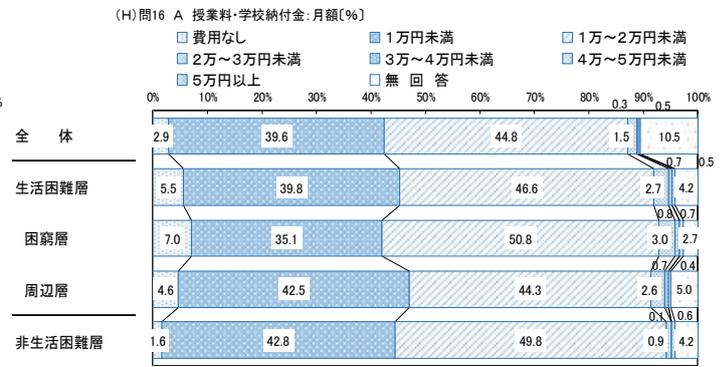
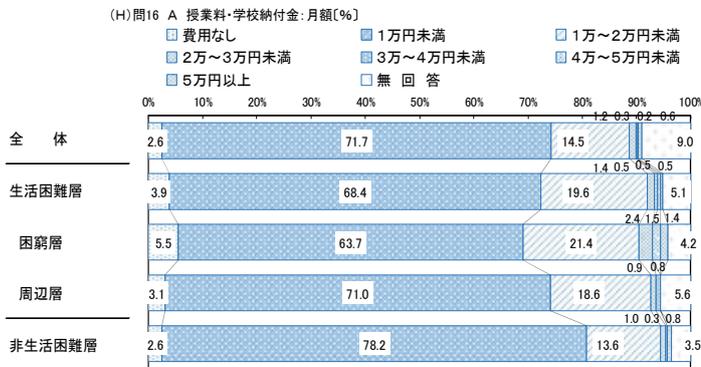
〔A 授業料・学校納付金（給食費含む）〕

小学校5年生では、「1万円未満」が71.7%で、「1万～2万円未満」が14.5%となっています。生活困難層で「1万円未満」が68.4%で、「1万～2万円未満」が19.6%となっています。

中学校2年生では、「1万～2万円未満」が44.8%で、「1万円未満」が39.6%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



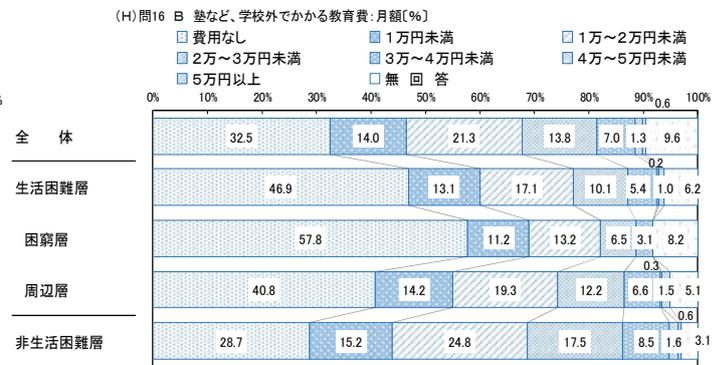
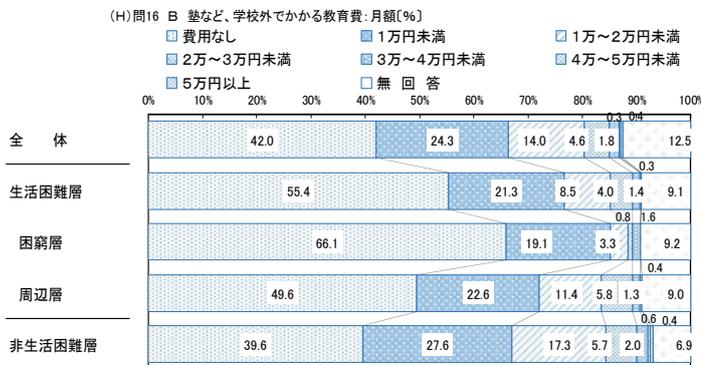
〔B 塾など、学校外でかかる教育費〕

小学校5年生では、「費用なし」が42.0%で、「1万円未満」が24.3%となっています。生活困難層で「費用なし」が55.4%となっています。

中学校2年生では、「費用なし」が32.5%で、「1万～2万円未満」が21.3%となっています。生活困難層で「費用なし」が46.9%で、「1万～2万円未満」が17.1%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



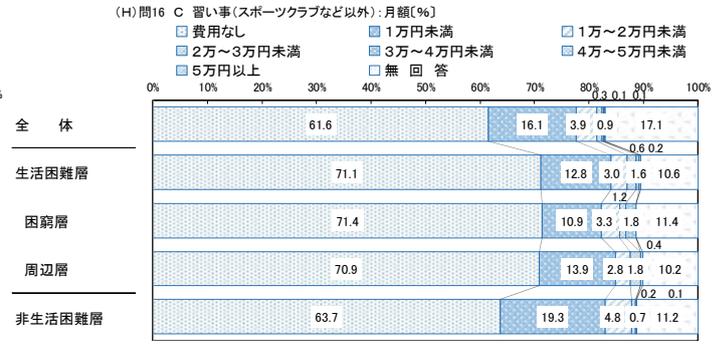
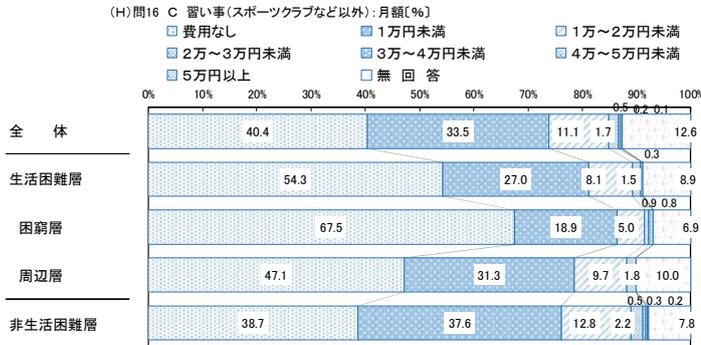
〔C 習い事（スポーツクラブなど以外）〕

小学校5年生では、「費用なし」が40.4%で、「1万円未満」が33.5%となっています。生活困難層で「費用なし」が54.3%で、「1万円未満」が27.0%となっています。

中学校2年生では、「費用なし」が61.6%で、「1万円未満」が16.1%となっています。生活困難層で「費用なし」が71.1%で、「1万円未満」が12.8%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



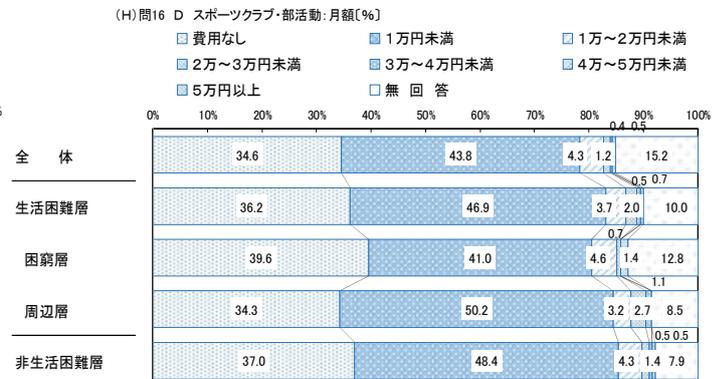
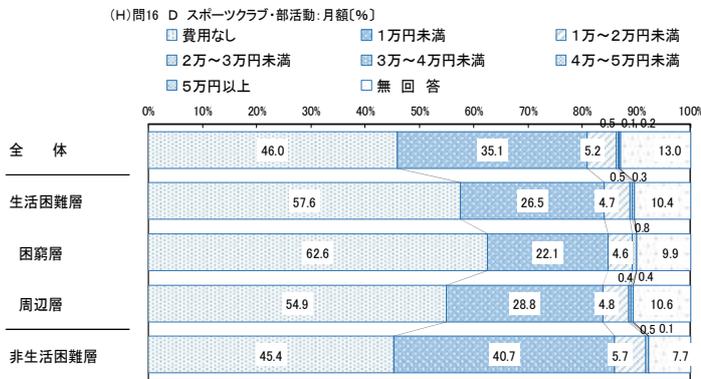
〔D スポーツクラブ・部活動〕

小学校5年生では、「費用なし」が46.0%で、「1万円未満」が35.1%となっています。生活困難層で「費用なし」が57.6%で、「1万円未満」が26.5%となっています。

中学校2年生では、「1万円未満」が43.8%で、「費用なし」が34.6%となっています。生活困難層で「1万円未満」が46.9%で、「費用なし」が36.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



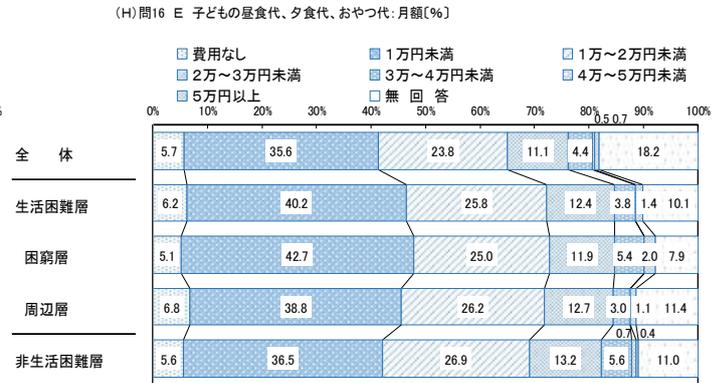
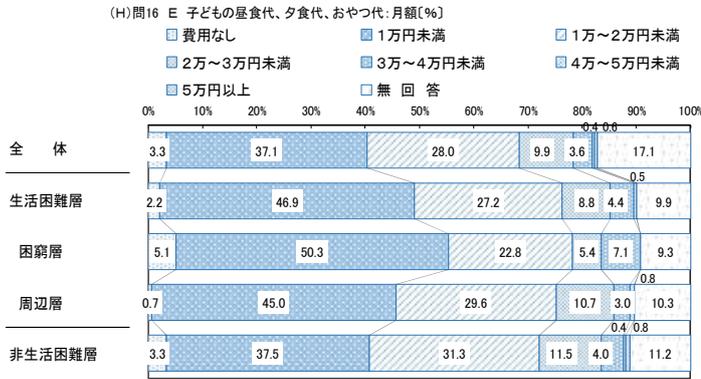
〔E お子さんの昼食代（休日分）、夕食代、おやつ代（外食含む）〕

小学校5年生では、「1万円未満」が37.1%で、「1万～2万円未満」が28.0%となっています。生活困難層で「1万円未満」が46.9%となっています。

中学校2年生では、「1万円未満」が35.6%で、「1万～2万円未満」が23.8%となっています。生活困難層で「1万円未満」が40.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



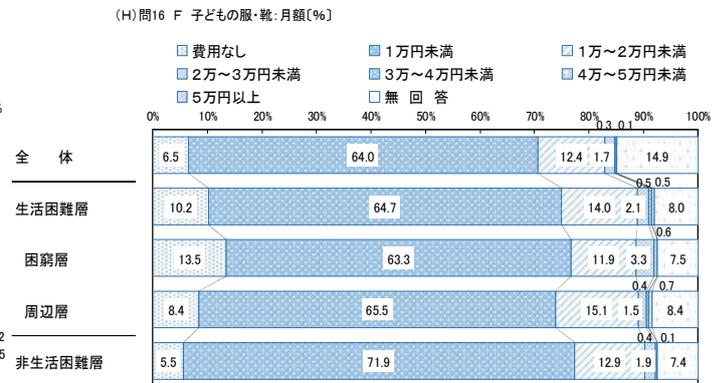
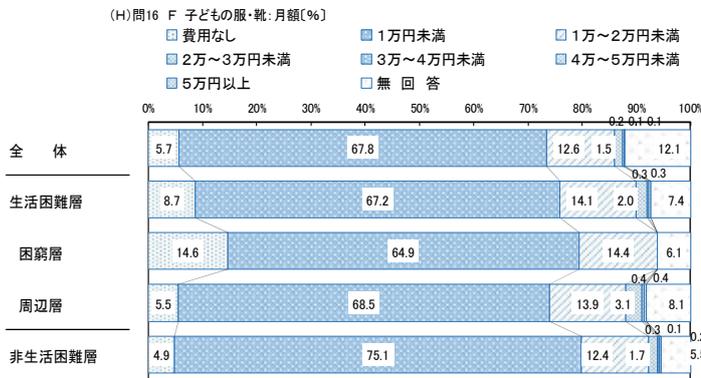
〔F お子さんの服・靴〕

小学校5年生では、「1万円未満」が67.8%で、「1万～2万円未満」が12.6%となっています。

中学校2年生では、「1万円未満」が64.0%で、「1万～2万円未満」が12.4%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



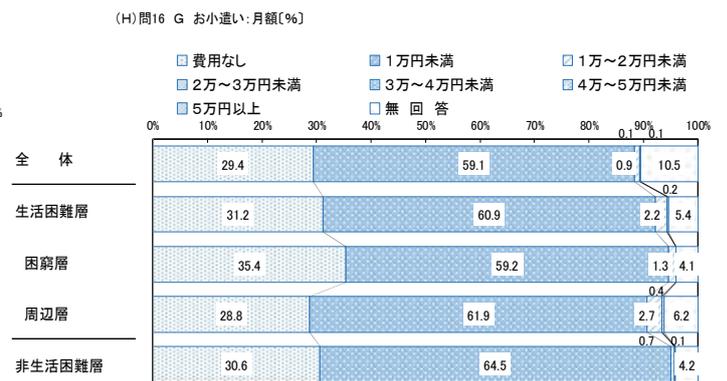
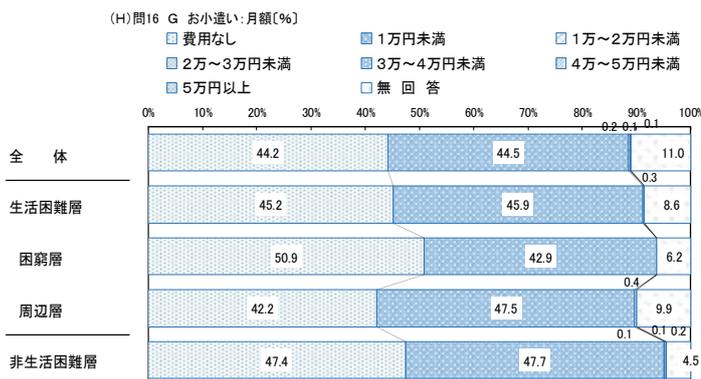
〔G お小遣い〕

小学校5年生では、「1万円未満」が44.5%で、「費用なし」が44.2%となっています。

中学校2年生では、「1万円未満」が59.1%で、「費用なし」が29.4%となっています。

小学校5年生保護者

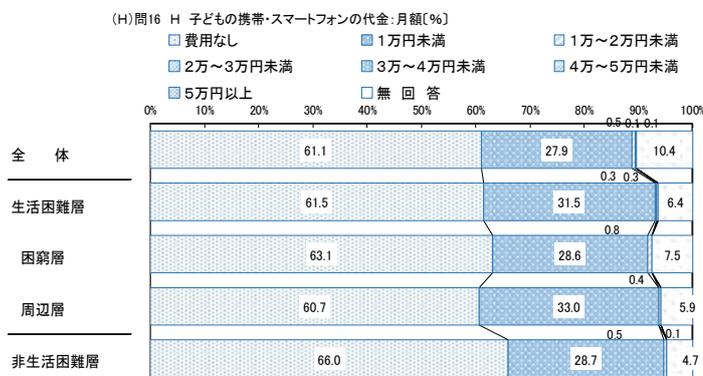
中学校2年生保護者



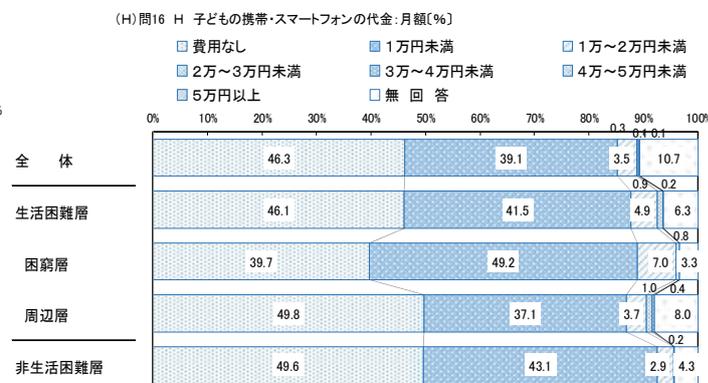
〔H (お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金〕

小学校5年生では、「費用なし」が61.1%で、「1万円未満」が27.9%となっています。
 中学校2年生では、「費用なし」が46.3%で、「1万円未満」が39.1%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



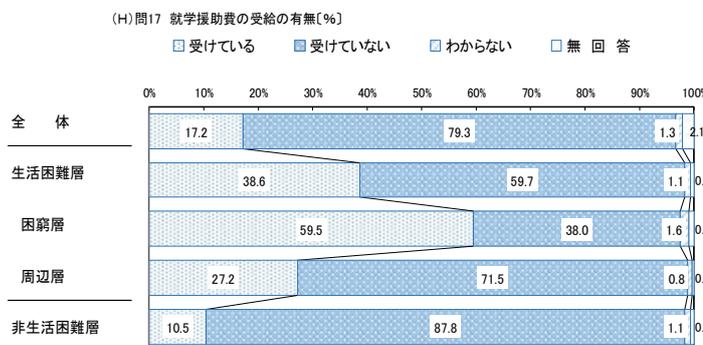
2. 就学援助

(1) 就学援助受給状況と受給していない理由

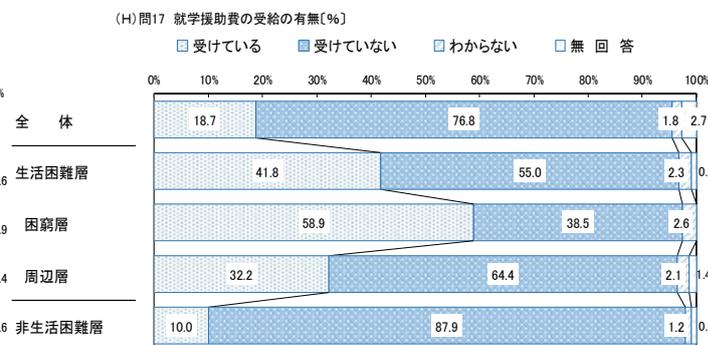
保護者設問：あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰ったお子さんのために就学援助を受けていますか。（問17）

「受けている」は小学5年生、中学2年生ともに非生活困難層では1割程度ですが、生活困難層では4割前後となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



保護者設問：就学援助を「2 受けていない」と回答した方 受けていない理由は、何ですか。（問17-2）

小学校5年生では、「必要ないと判断し、申請しなかった」が48.6%で、「必要であるが申請要件を満たしてない」が26.5%となっています。生活困難層で「必要であるが申請要件を満たしてない」が31.8%となっています。

中学校2年生では、「必要ないと判断し、申請しなかった」が46.4%で、「必要であるが申請要件を満たしてない」が29.8%となっています。生活困難層で「必要であるが申請要件を満たしてない」が32.9%となっています。

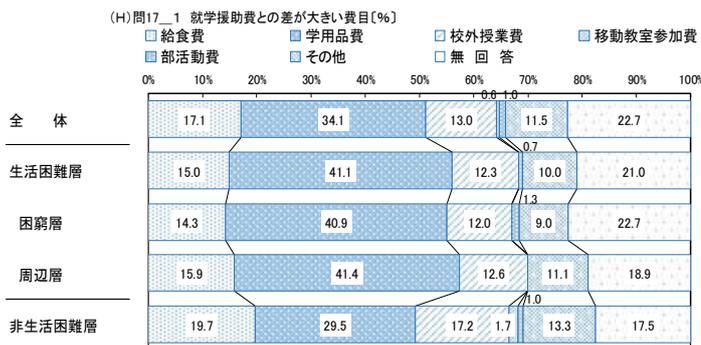
(2) 支給額と実費との差が大きい経費

保護者設問：就学援助を「1 受けている」と回答した方 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。（問17-1）

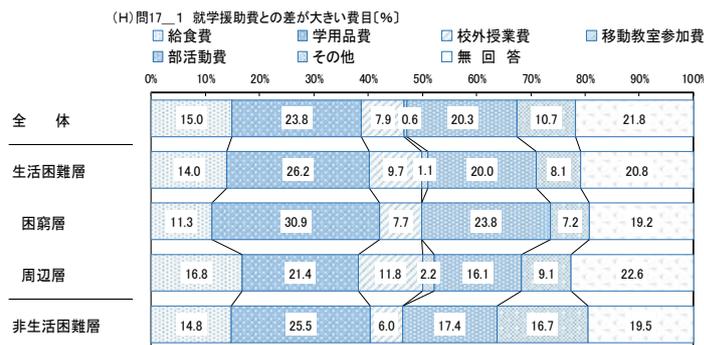
小学校5年生では、「学用品費」が34.1%で、「給食費」が17.1%となっています。生活困難層で「学用品費」が41.1%で、「給食費」が15.0%となっています。

中学校2年生では、「学用品費」が23.8%で、「部活動費」が20.3%となっています。生活困難層で「学用品費」が26.2%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



3. 子どもとの関わり頻度

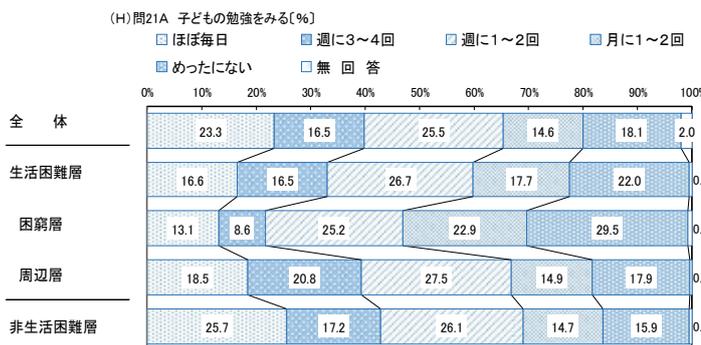
保護者設問：あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（問21）

〔A お子さんの勉強をみる〕

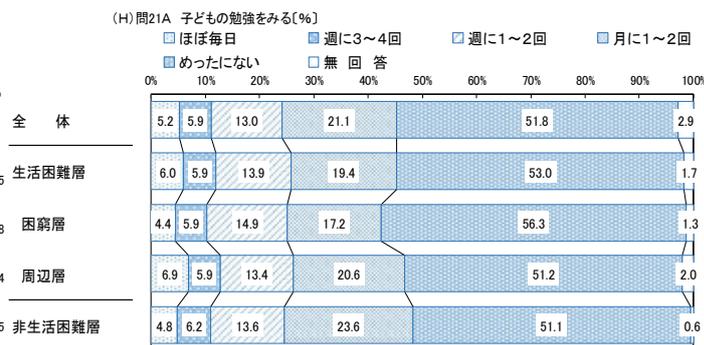
小学校5年生では、「週に1~2日」が25.5%で、「めったにない」が18.1%となっています。生活困難層で、「めったにない」が22.0%となっています。

中学校2年生では、「めったにない」が51.8%で、「ほぼ毎日」が5.2%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



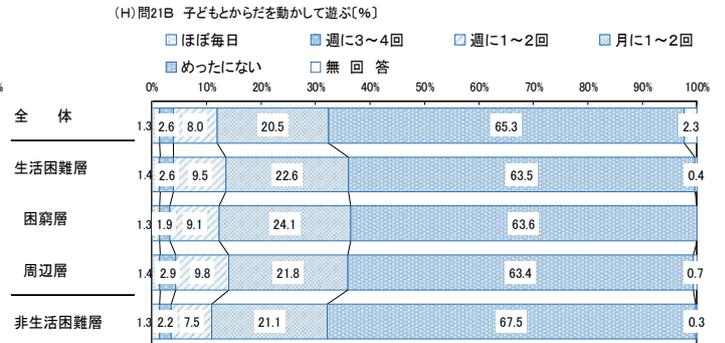
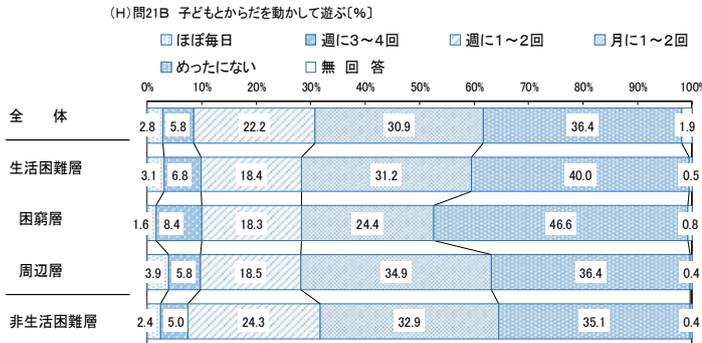
〔B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）〕

小学校5年生では、「めったにない」が36.4%で、「月に1～2回」が30.9%となっています。生活困難層で「めったにない」が40.0%となっています。

中学校2年生では、「めったにない」が65.3%で、「月に1～2回」が20.5%となっています。生活困難層で「めったにない」が63.5%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



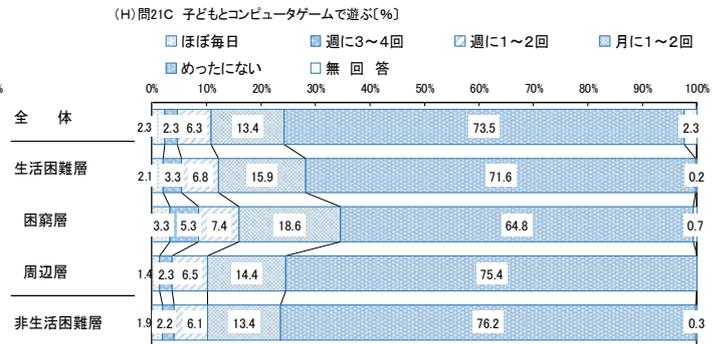
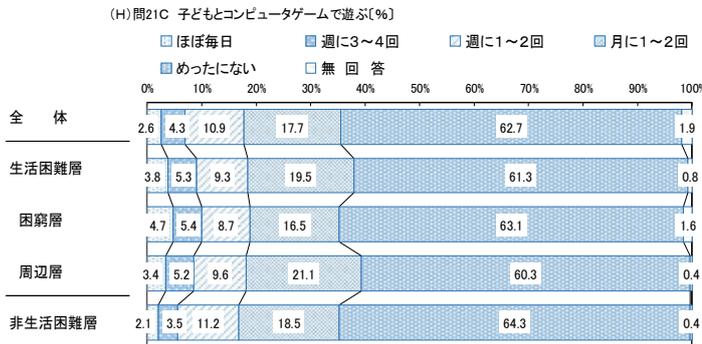
〔C お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）〕

小学校5年生では、「めったにない」が62.7%、「月に1～2回」が17.7%となっています。

中学校2年生では、「めったにない」が73.5%、「月に1～2回」が13.4%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



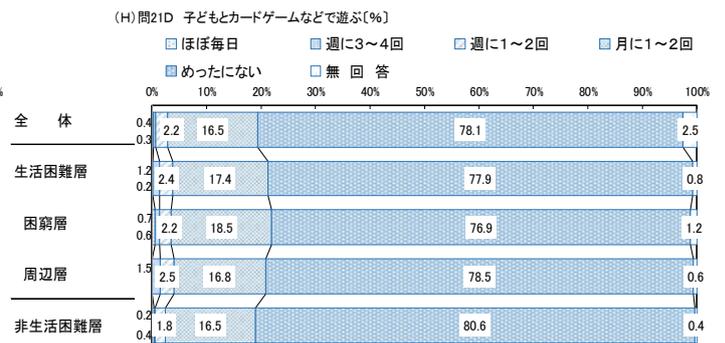
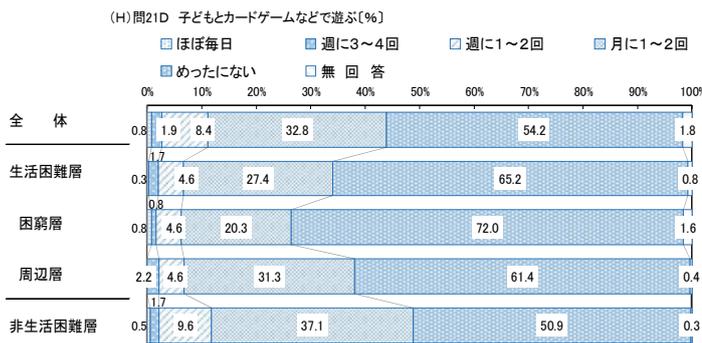
〔D お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）〕

小学校5年生では、「めったにない」が54.2%、「月に1～2回」が32.8%となっています。生活困難層で「めったにない」が65.2%、「月に1～2回」が27.4%となっています。

中学校2年生では、「めったにない」が78.1%、「月に1～2回」が16.5%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



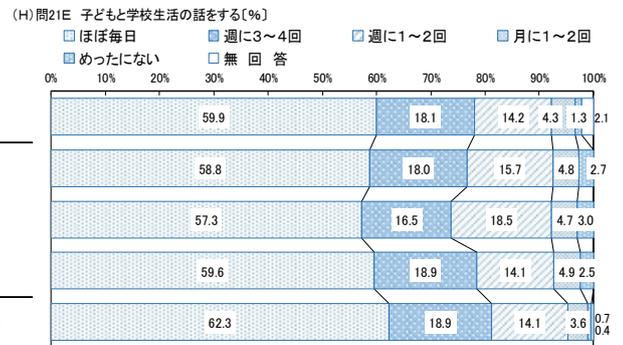
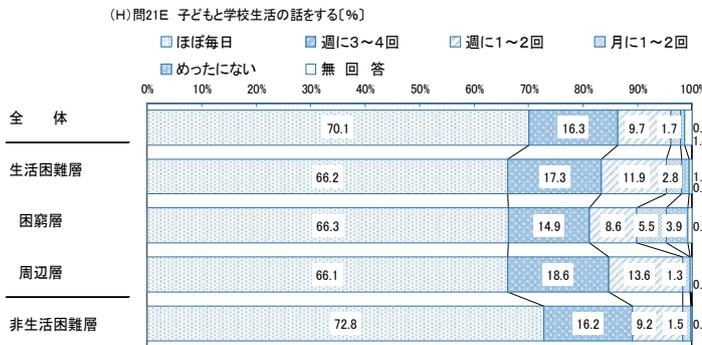
〔E お子さんと学校生活の話をする〕

小学校5年生では、「ほぼ毎日」が70.1%、「めったにない」が0.8%となっています。生活困難層で「ほぼ毎日」が66.2%となっています。

中学校2年生では、「ほぼ毎日」が59.9%、「めったにない」が1.3%となっています。生活困難層で「ほぼ毎日」が58.8%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



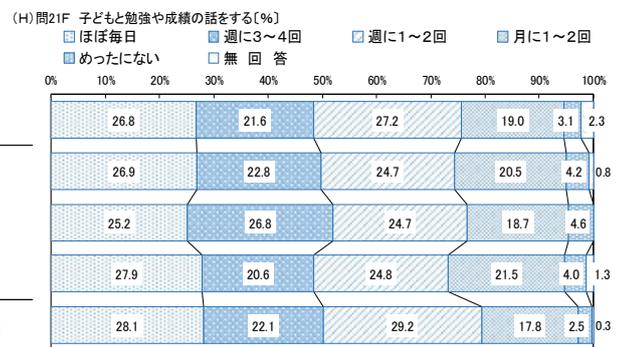
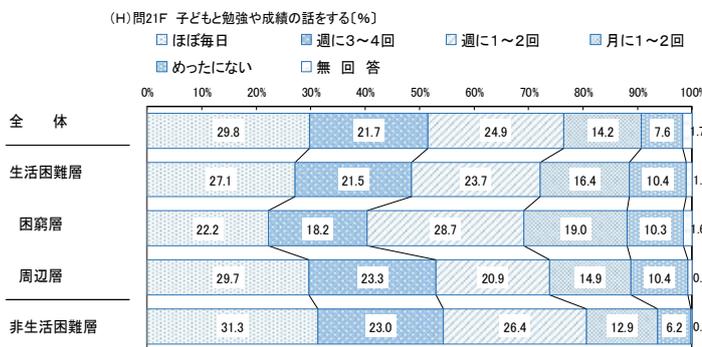
〔F お子さんと勉強や成績の話をする〕

小学校5年生では、「ほぼ毎日」が29.8%、「めったにない」が7.6%となっています。生活困難層で「ほぼ毎日」が27.1%、「めったにない」が10.4%となっています。

中学校2年生では、「週に1~2回」が27.2%、「めったにない」が3.1%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



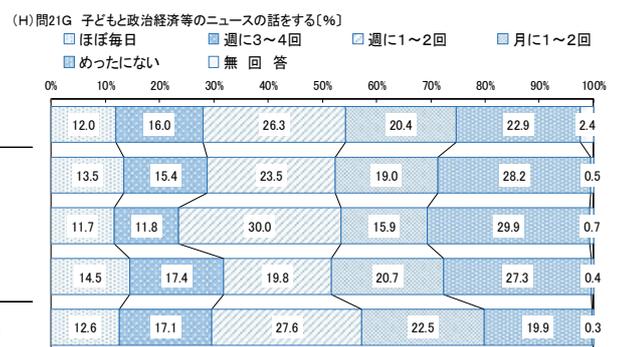
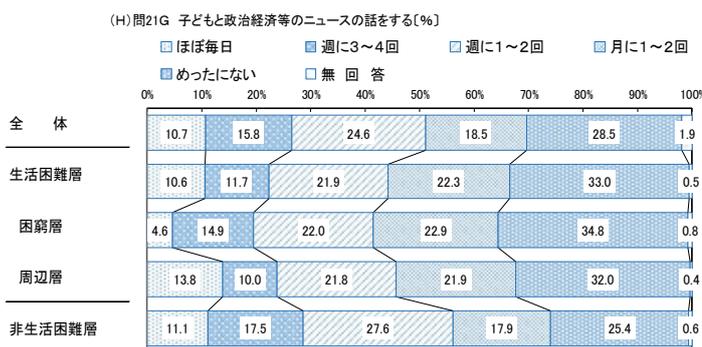
〔G お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする〕

小学校5年生では、「めったにない」が28.5%、「週に1~2回」が24.6%となっています。生活困難層で「めったにない」が33.0%となっています。

中学校2年生では、「週に1~2回」が26.3%、「めったにない」が22.9%となっています。生活困難層で「めったにない」が28.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

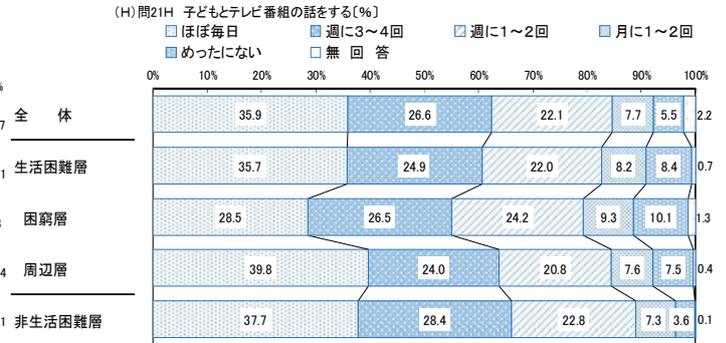
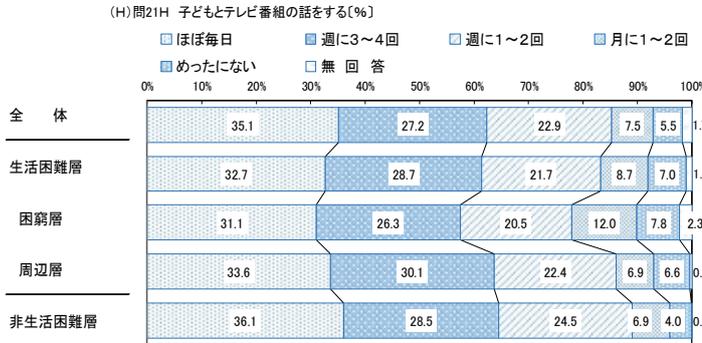


〔H お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする〕

小学校5年生では、「ほぼ毎日」が35.1%、「めったにない」が5.5%となっています。
 中学校2年生では、「ほぼ毎日」が35.9%、「めったにない」が5.5%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

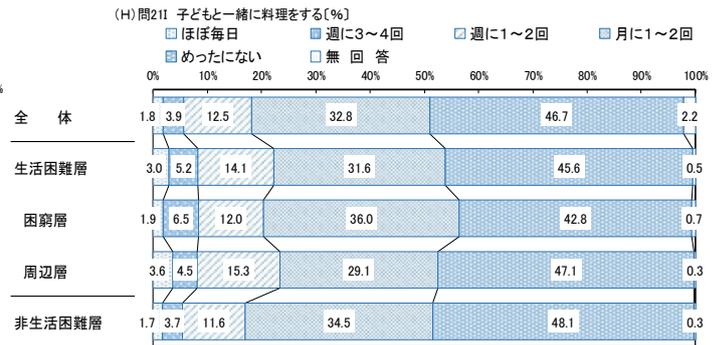
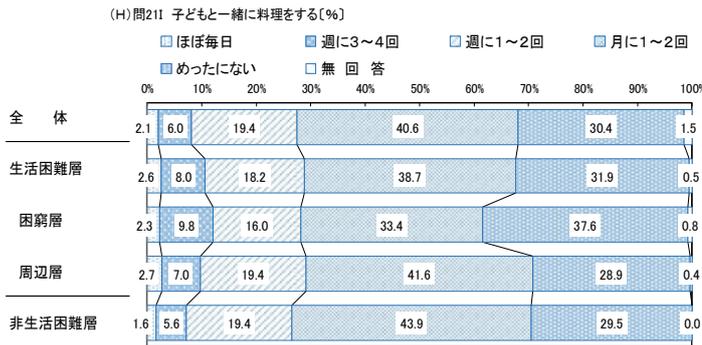


〔I お子さんと一緒に料理をする〕

小学校5年生では、「月に1~2回」が40.6%、「めったにない」が30.4%となっています。
 中学校2年生では、「めったにない」が46.7%、「月に1~2回」が32.8%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

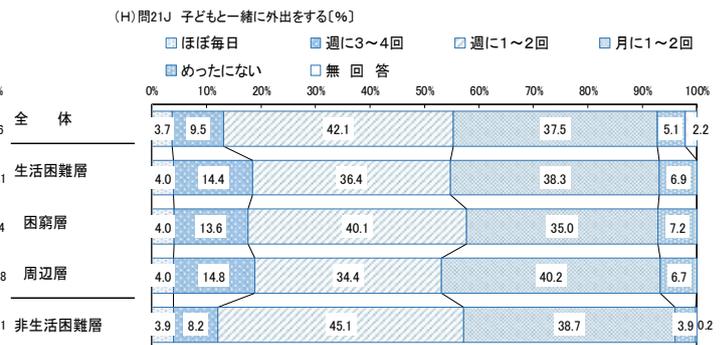
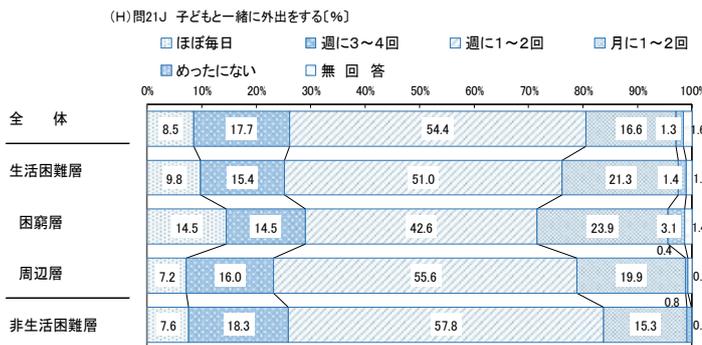


〔J お子さんと一緒に外出をする〕

小学校5年生では、「週に1~2回」が54.4%、「週に3~4回」が17.7%となっています。生活困難層で「週に1~2回」が51.0%、「月に1~2回」が21.3%となっています。
 中学校2年生では、「週に1~2回」が42.1%、「月に1~2回」が37.5%となっています。生活困難層で「月に1~2回」が38.3%、「週に1~2回」が36.4%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



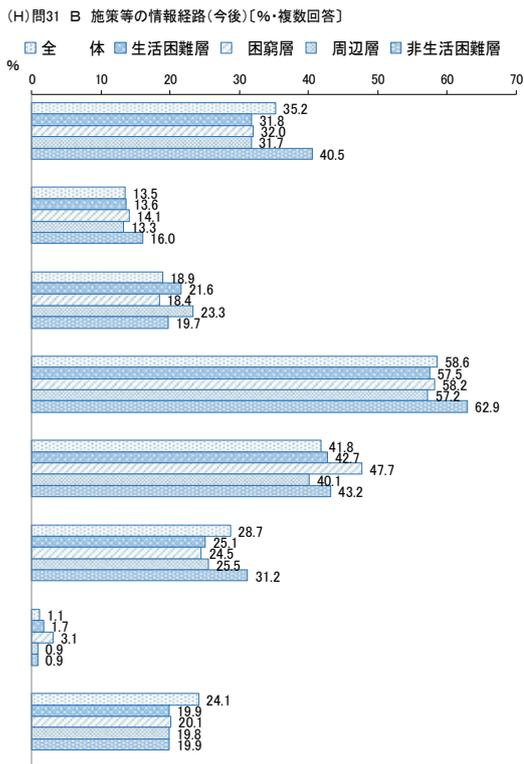
4. 制度・サービスの利用

(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

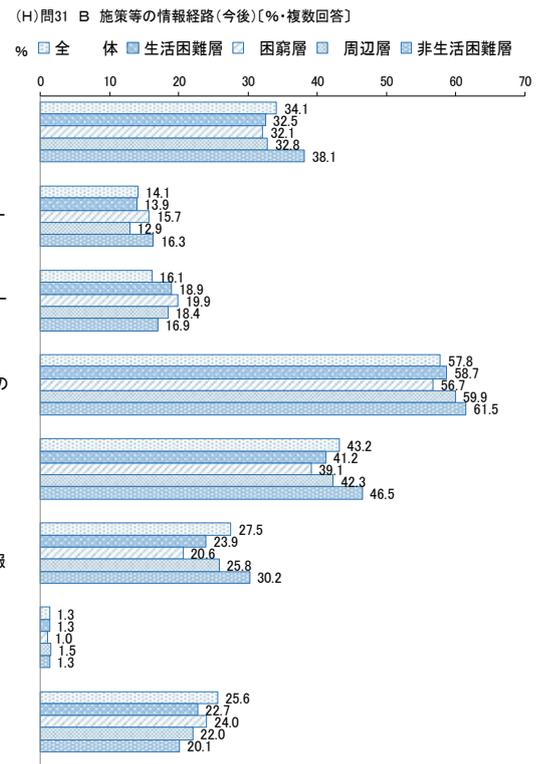
保護者設問：あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。（問31）

今後希望する入手方法は、小学校5年生、中学校2年生ともに「学校からのお便り（紙のもの）」の回答が多く、生活困難度による差もみられません。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



(2) 各種支援制度の利用経験

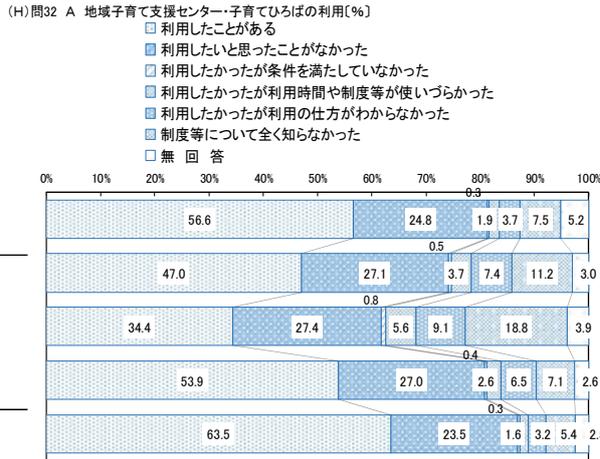
保護者設問：次のA～Hの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを教えてください。（問32）

[A 地域子育て支援センター・子育てひろば]

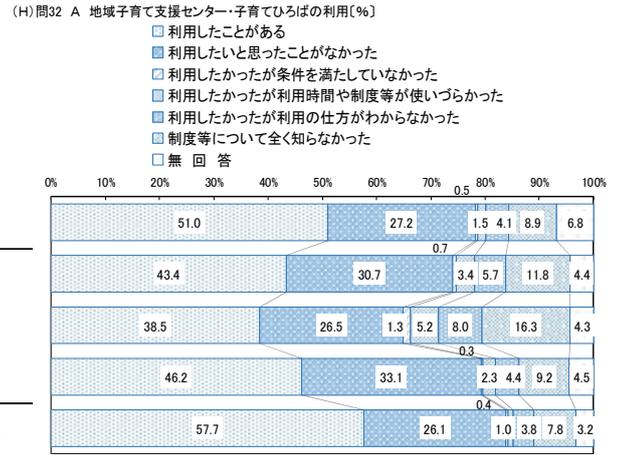
小学校5年生では、「利用したことがある」が56.6%で、「利用したいと思ったことがなかった」が24.8%、「制度等について全く知らなかった」が7.5%となっています。生活困難層で「利用したことがある」が47.0%で、「利用したいと思ったことがなかった」が27.1%、「制度等について全く知らなかった」が11.2%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が51.0%で、「利用したいと思ったことがなかった」が27.2%、「制度等について全く知らなかった」が8.9%となっています。生活困難層で「利用したことがある」が43.4%で、「利用したいと思ったことがなかった」が30.7%、「制度等について全く知らなかった」が11.8%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者

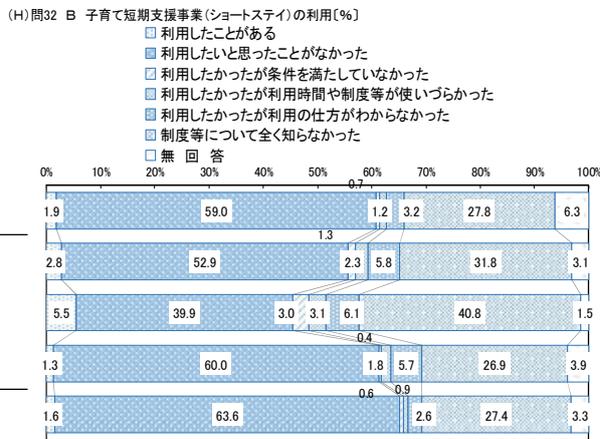


〔B 子育て短期支援事業（ショートステイ）〕

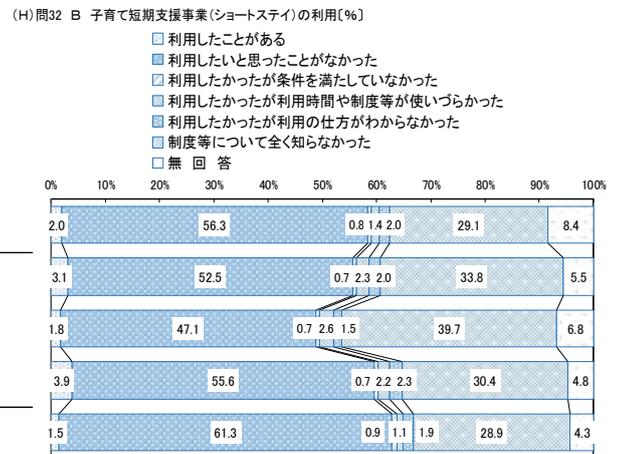
小学校5年生では、「利用したことがある」が1.9%で、「利用したいと思ったことがなかった」が59.0%、「制度等について全く知らなかった」が27.8%となっています。生活困難層で「制度等について全く知らなかった」が31.8%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が2.0%で、「利用したいと思ったことがなかった」が56.3%、「制度等について全く知らなかった」が29.1%となっています。生活困難層で「制度等について全く知らなかった」が33.8%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



〔C ファミリー・サポート・センター〕

小学校5年生では、「利用したことがある」が5.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が58.3%、「制度等について全く知らなかった」が14.6%となっています。生活困難層で「制度等について全く知らなかった」が22.0%となっています。

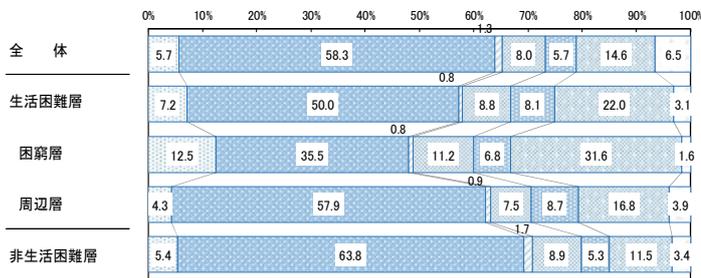
中学校2年生では、「利用したことがある」が6.3%で、「利用したいと思ったことがなかった」が55.9%、「制度等について全く知らなかった」が18.1%となっています。生活困難層で「制度等について全く知らなかった」が24.0%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

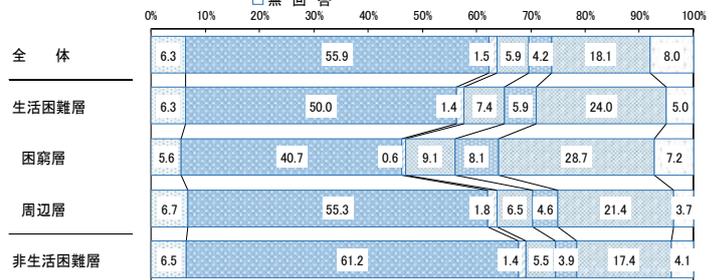
(H)問32 C ファミリー・サポート・センターの利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



(H)問32 C ファミリー・サポート・センターの利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



〔D 子ども食堂〕

小学校5年生では、「利用したことがある」が3.6%で、「利用したいと思ったことがなかった」が59.7%、「制度等について全く知らなかった」が20.6%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が50.3%、「制度等について全く知らなかった」が27.2%となっています。

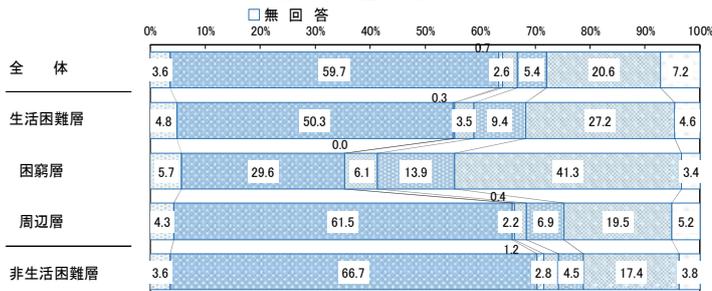
中学校2年生では、「利用したことがある」が2.3%で、「利用したいと思ったことがなかった」が58.9%、「制度等について全く知らなかった」が24.3%となっています。生活困難層で「制度等について全く知らなかった」が32.0%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

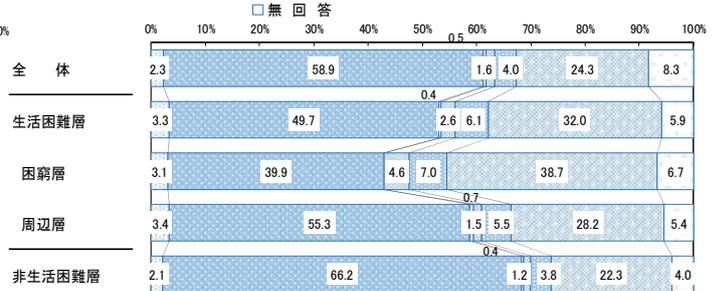
(H)問32 D 子ども食堂の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



(H)問32 D 子ども食堂の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



〔E フードバンクによる食料支援〕

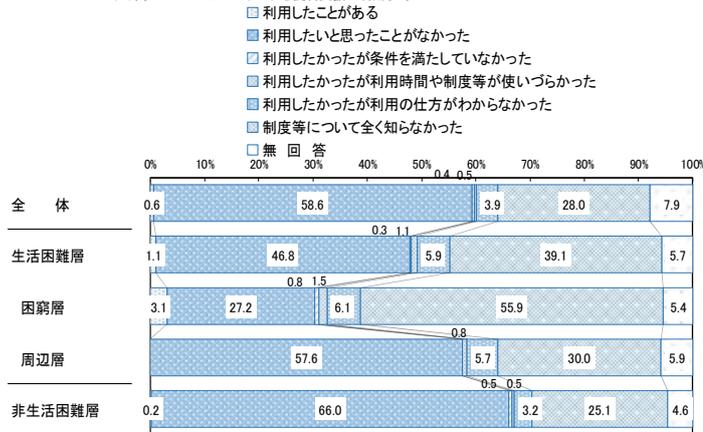
小学校5年生では、「利用したことがある」が0.6%で、「利用したいと思ったことがなかった」が58.6%、「制度等について全く知らなかった」が28.0%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が46.8%、「制度等について全く知らなかった」が39.1%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が0.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が55.6%、「制度等について全く知らなかった」が29.4%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が47.8%、「制度等について全く知らなかった」が36.6%となっています。

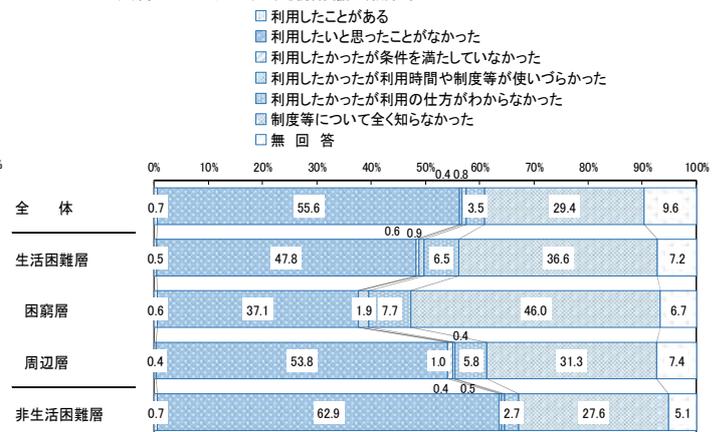
小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問32 E フードバンクによる食料支援の利用[%]



(H)問32 E フードバンクによる食料支援の利用[%]



〔F 小学校高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ〕

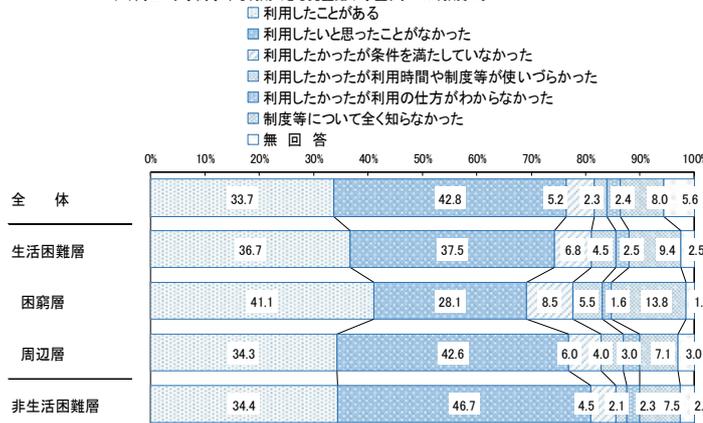
小学校5年生では、「利用したことがある」が33.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が42.8%、「制度等について全く知らなかった」が8.0%となっています。生活困難層で「利用したことがある」が36.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が37.5%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が31.0%で、「利用したいと思ったことがなかった」が45.5%、「制度等について全く知らなかった」が7.6%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が40.1%、「制度等について全く知らなかった」が11.3%となっています。

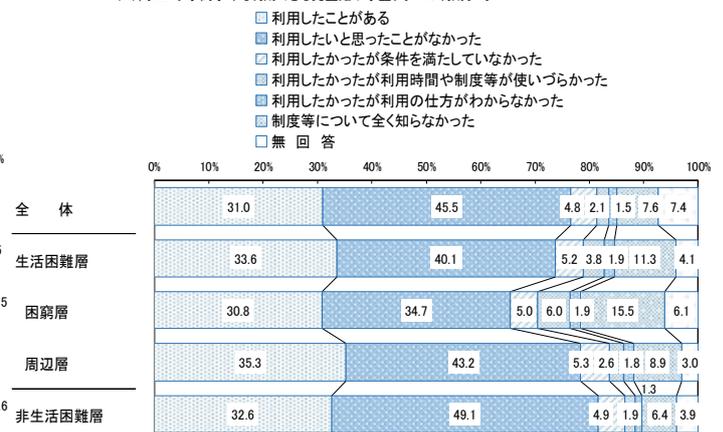
小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問32F小学高学年も利用できる児童館や学童クラブの利用[%]



(H)問32F小学高学年も利用できる児童館や学童クラブの利用[%]



〔G 学校が実施する補講（学習支援）〕

小学校5年生では、「利用したことがある」が24.2%で、「利用したいと思ったことがなかった」が38.6%、「制度等について全く知らなかった」が22.8%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が29.5%、「制度等について全く知らなかった」が29.7%となっています。

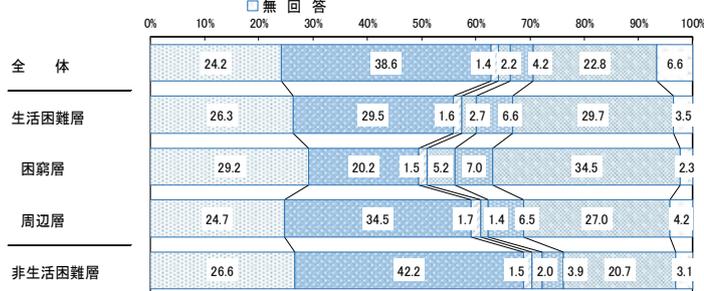
中学校2年生では、「利用したことがある」が25.4%で、「利用したいと思ったことがなかった」が39.7%、「制度等について全く知らなかった」が19.2%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が29.9%、「制度等について全く知らなかった」が23.3%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

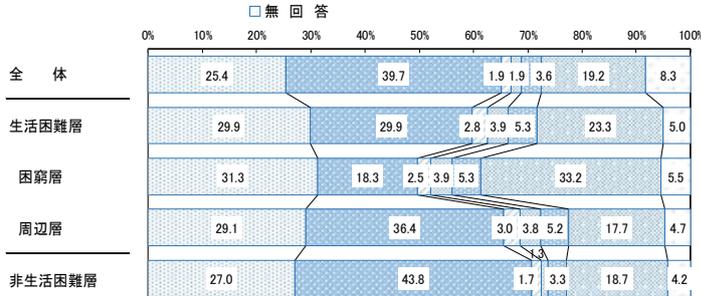
(H)問32 G 学校が実施する補講(学習支援)の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



(H)問32 G 学校が実施する補講(学習支援)の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



〔H 学校以外が実施する学習支援〕

小学校5年生では、「利用したことがある」が5.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が45.8%、「制度等について全く知らなかった」が34.8%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が35.2%、「制度等について全く知らなかった」が43.3%となっています。

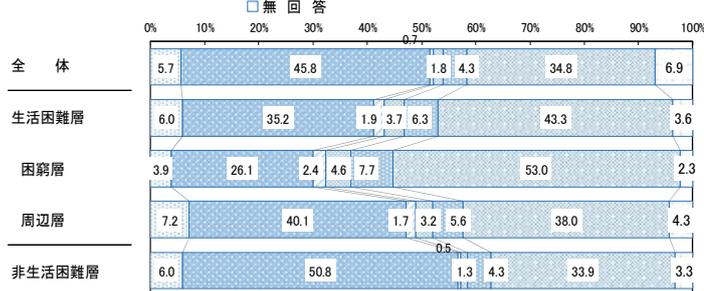
中学校2年生では、「利用したことがある」が5.8%で、「利用したいと思ったことがなかった」が46.3%、「制度等について全く知らなかった」が31.4%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が38.5%、「制度等について全く知らなかった」が37.9%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

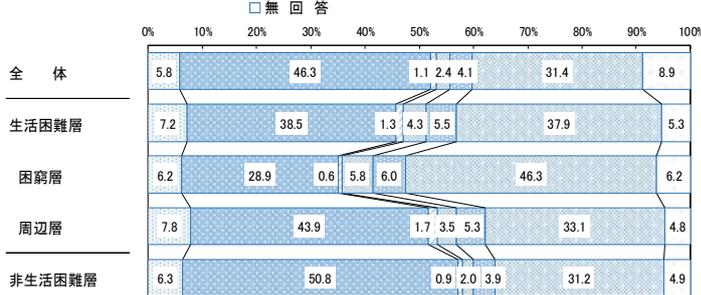
(H)問32 H 学校以外が実施する学習支援の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



(H)問32 H 学校以外が実施する学習支援の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが利用時間や制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



(3) 各種経済的支援制度の利用経験

保護者設問：次のI～Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。（問33）

[I] 生活福祉資金の貸付

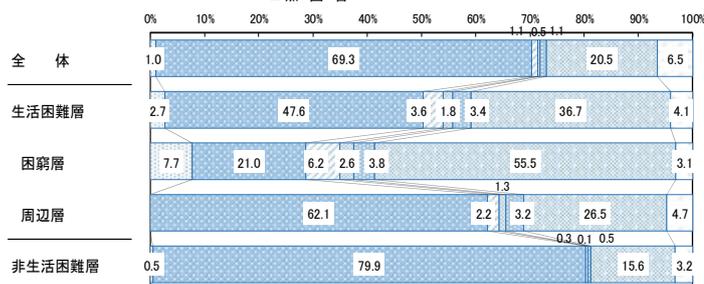
小学校5年生では、「利用したことがある」が1.0%で、「利用したいと思ったことがなかった」が69.3%、「制度等について全く知らなかった」が20.5%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が47.6%、「制度等について全く知らなかった」が36.7%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が0.4%で、「利用したいと思ったことがなかった」が69.5%、「制度等について全く知らなかった」が19.0%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が57.0%、「制度等について全く知らなかった」が30.3%となっています。

小学校5年生保護者

(H)問33 I 生活福祉資金の貸付[%]

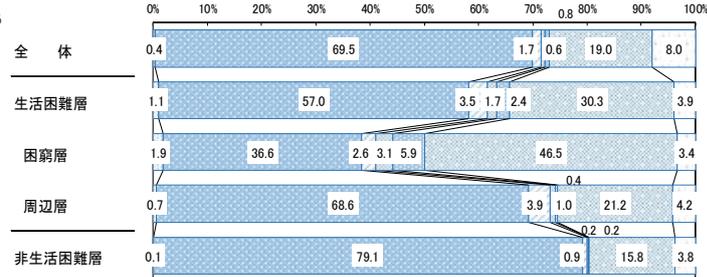
- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



中学校2年生保護者

(H)問33 I 生活福祉資金の貸付[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



[J] 生活保護

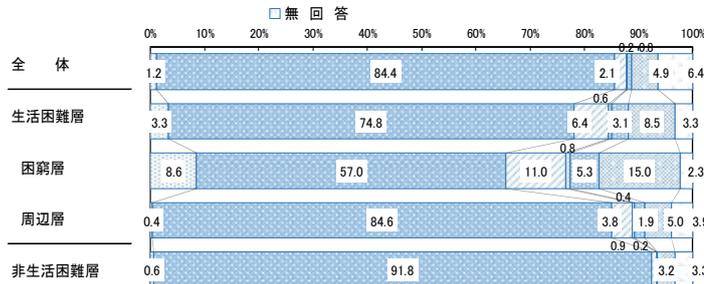
小学校5年生では、「利用したことがある」が1.2%で、「利用したいと思ったことがなかった」が84.4%、「制度等について全く知らなかった」が4.9%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が74.8%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が0.9%で、「利用したいと思ったことがなかった」が82.4%、「制度等について全く知らなかった」が5.4%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が76.6%となっています。

小学校5年生保護者

(H)問33 J 生活保護の利用[%]

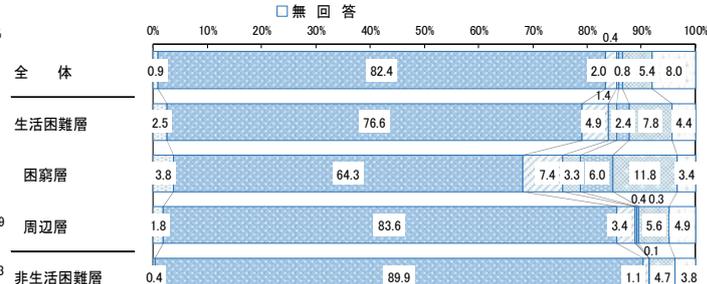
- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



中学校2年生保護者

(H)問33 J 生活保護の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



〔K 母子及び父子福祉資金の貸付〕

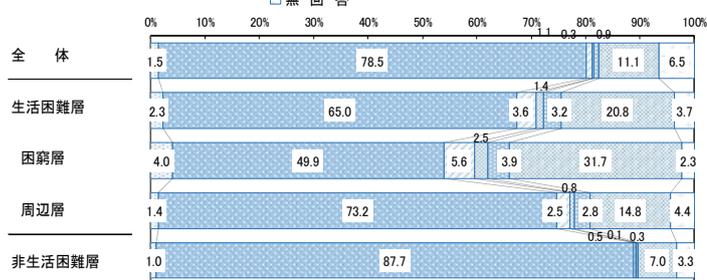
小学校5年生では、「利用したことがある」が1.5%で、「利用したいと思ったことがなかった」が78.5%、「制度等について全く知らなかった」が11.1%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が65.0%、「制度等について全く知らなかった」が20.8%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が0.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が77.5%、「制度等について全く知らなかった」が10.5%となっています。生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」が67.4%、「制度等について全く知らなかった」が19.1%となっています。

小学校5年生保護者

(H)問33 K 母子及び父子福祉資金の貸付の利用[%]

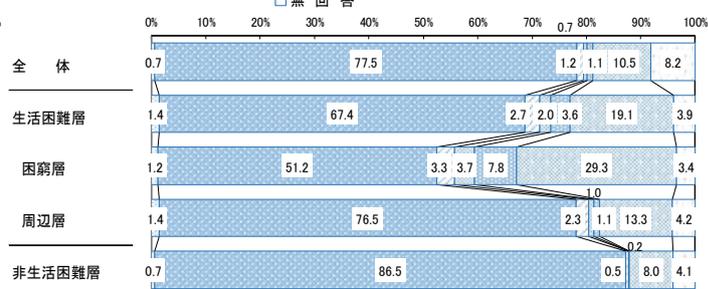
- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



中学校2年生保護者

(H)問33 K 母子及び父子福祉資金の貸付の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



〔L 児童扶養手当〕

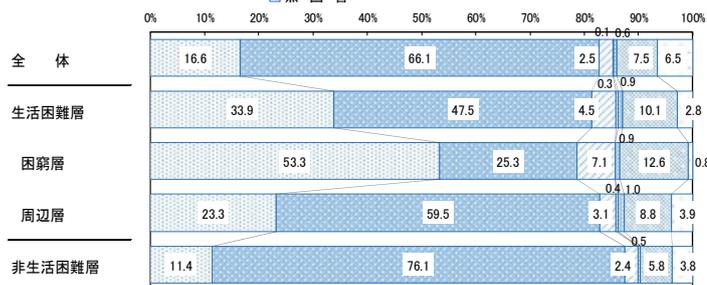
小学校5年生では、「利用したことがある」が16.6%で、「利用したいと思ったことがなかった」が66.1%、「制度等について全く知らなかった」が7.5%となっています。生活困難層で「利用したことがある」が33.9%で、「利用したいと思ったことがなかった」が47.5%となっています。

中学校2年生では、「利用したことがある」が18.1%で、「利用したいと思ったことがなかった」が63.1%、「制度等について全く知らなかった」が7.1%となっています。生活困難層で「利用したことがある」が33.7%で、「利用したいと思ったことがなかった」が49.1%となっています。

小学校5年生保護者

(H)問33 L 児童扶養手当の利用[%]

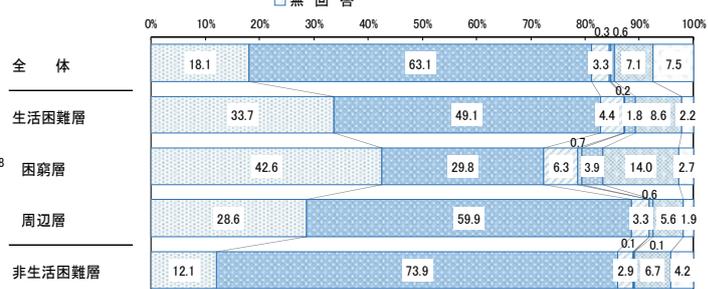
- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



中学校2年生保護者

(H)問33 L 児童扶養手当の利用[%]

- 利用したことがある
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが条件を満たしていなかった
- 利用したかったが制度等が使いづらかった
- 利用したかったが利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった
- 無回答



5. 相談

(1) 相談相手の有無

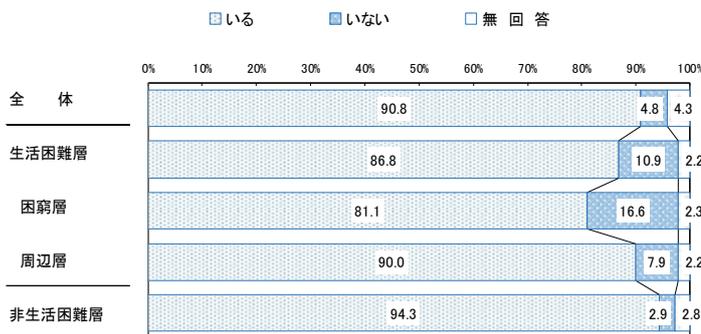
保護者設問：あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（問 34）

小学校5年生では、「いる」が90.8%で、「いない」が4.8%となっています。生活困難層で「いる」が86.8%で、「いない」が10.9%となっています。

中学校2年生では、「いる」が89.0%で、「いない」が5.8%となっています。生活困難層で「いる」が84.3%で、「いない」が12.8%となっています。

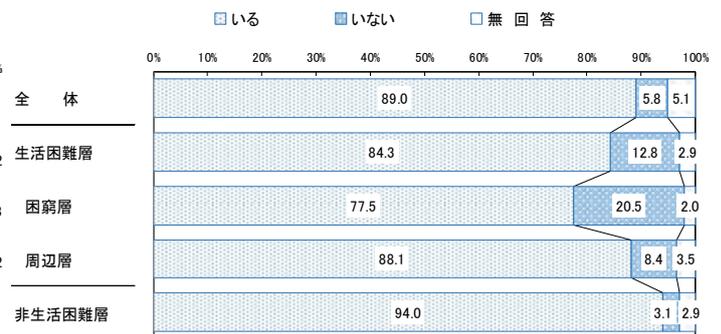
小学校5年生保護者

(H)問34 困ったときや悩みがあるときの相談者有無[%]



中学校2年生保護者

(H)問34 困ったときや悩みがあるときの相談者有無[%]



(2) 公的相談機関の利用経験

保護者設問：あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを教えてください。（問 35）

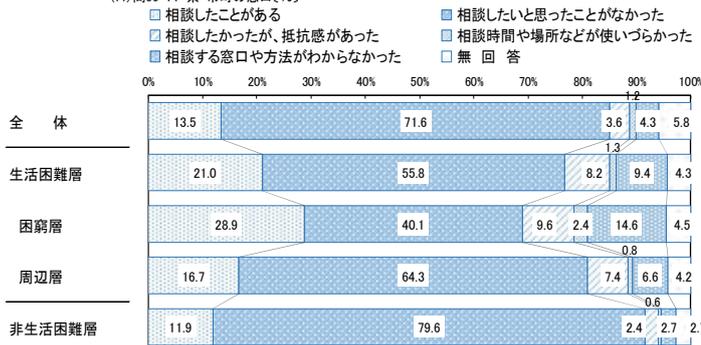
〔A 県・市町の窓口〕

小学校5年生では、「相談したことがある」が13.5%で、「相談したいと思ったことがなかった」が71.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.3%となっています。生活困難層で「相談したことがある」が21.0%で、「相談したいと思ったことがなかった」が55.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が9.4%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が13.0%で、「相談したいと思ったことがなかった」が69.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が5.3%となっています。生活困難層で「相談したことがある」が17.5%で、「相談したいと思ったことがなかった」が58.4%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が9.8%となっています。

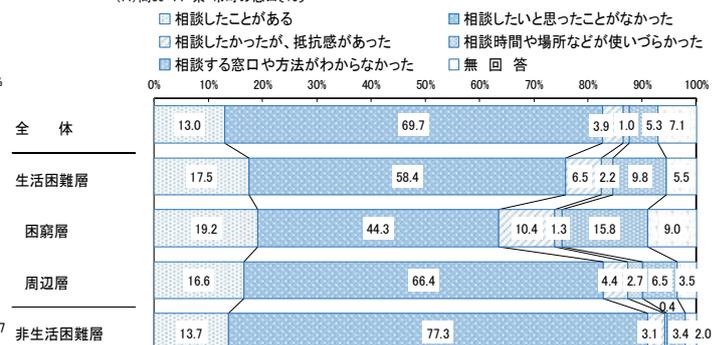
小学校5年生保護者

(H)問35 A 県・市町の窓口[%]



中学校2年生保護者

(H)問35 A 県・市町の窓口[%]



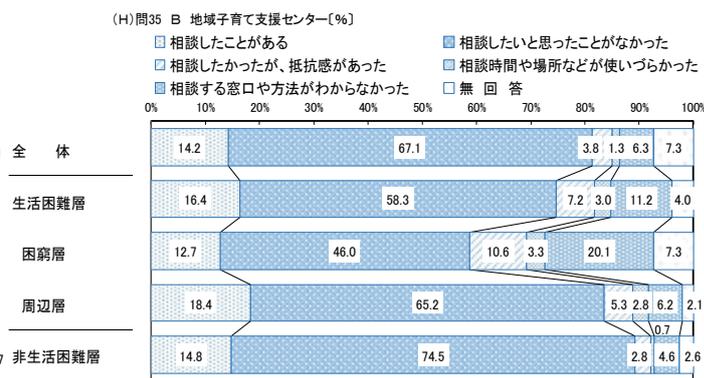
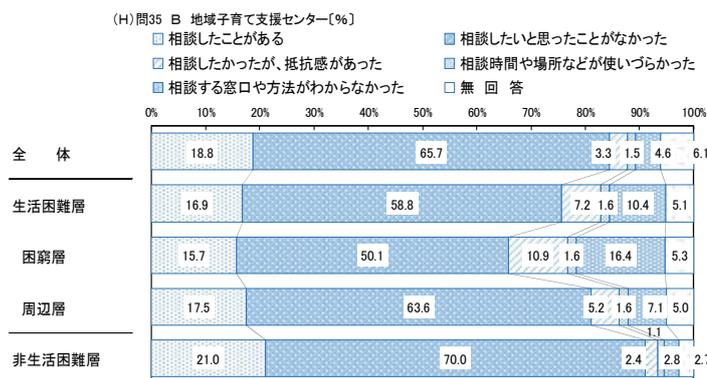
〔B 地域子育て支援センター〕

小学校5年生では、「相談したことがある」が18.8%で、「相談したいと思ったことがなかった」が65.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.6%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が58.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が10.4%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が14.2%で、「相談したいと思ったことがなかった」が67.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.3%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が58.3%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が11.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



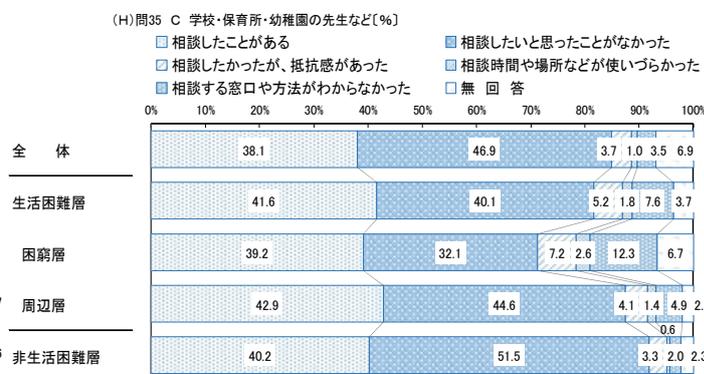
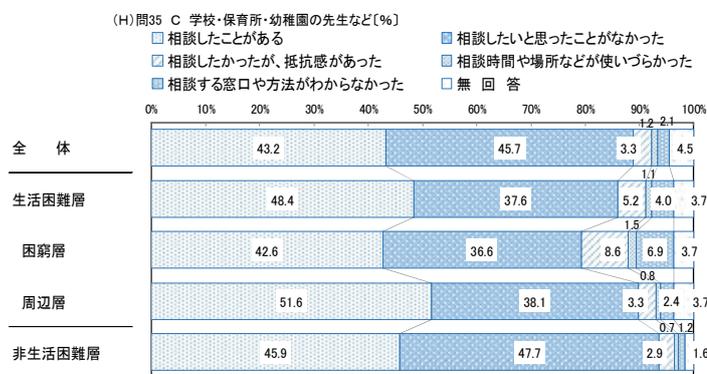
〔C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど〕

小学校5年生では、「相談したことがある」が43.2%で、「相談したいと思ったことがなかった」が45.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が2.1%となっています。生活困難層で「相談したことがある」が48.4%で、「相談したいと思ったことがなかった」が37.6%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が38.1%で、「相談したいと思ったことがなかった」が46.9%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.5%となっています。生活困難層で「相談したことがある」が41.6%で、「相談したいと思ったことがなかった」が40.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.6%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

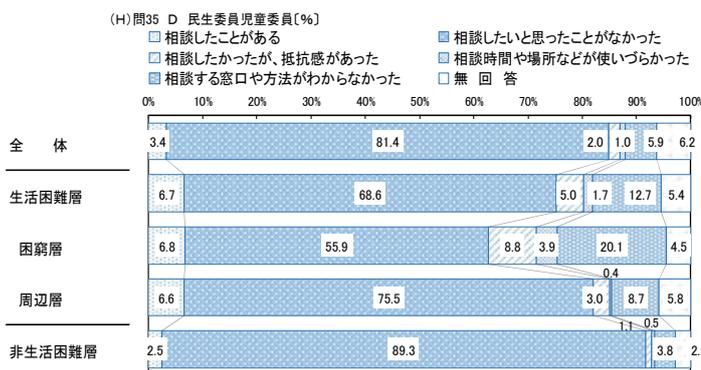


〔D 民生委員児童委員〕

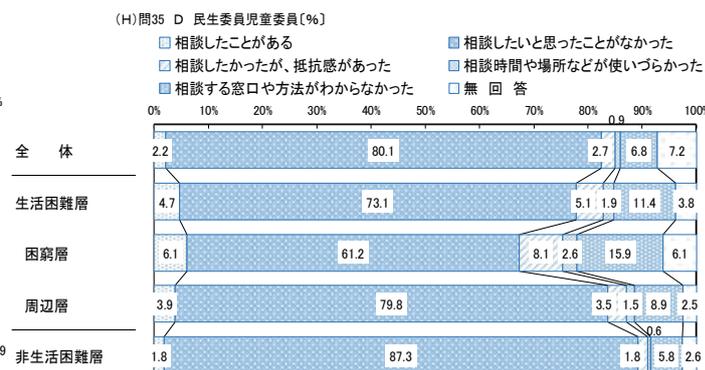
小学校5年生では、「相談したことがある」が3.4%で、「相談したいと思ったことがなかった」が81.4%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が5.9%となっています。生活困難層で、「相談したいと思ったことがなかった」が68.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が12.7%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が2.2%で、「相談したいと思ったことがなかった」が80.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.8%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が73.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が11.4%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者

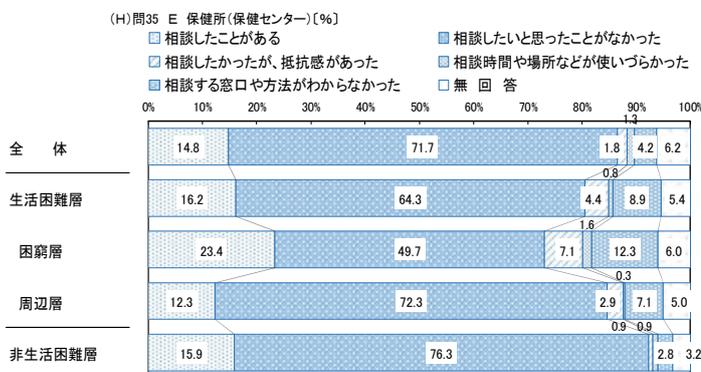


〔E 保健所（保健センター）〕

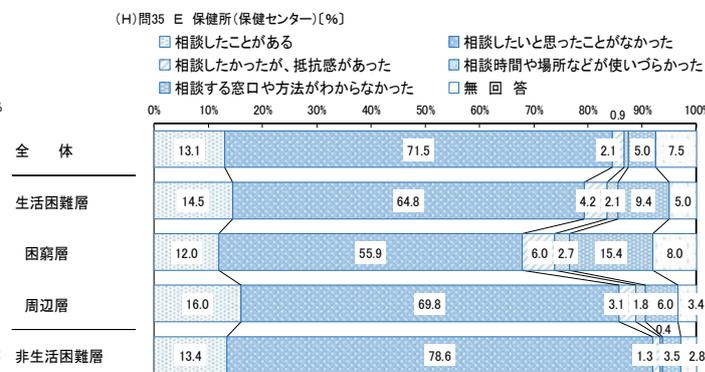
小学校5年生では、「相談したことがある」が14.8%で、「相談したいと思ったことがなかった」が71.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.2%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が64.3%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が8.9%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が13.1%で、「相談したいと思ったことがなかった」が71.5%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が5.0%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が64.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が9.4%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者

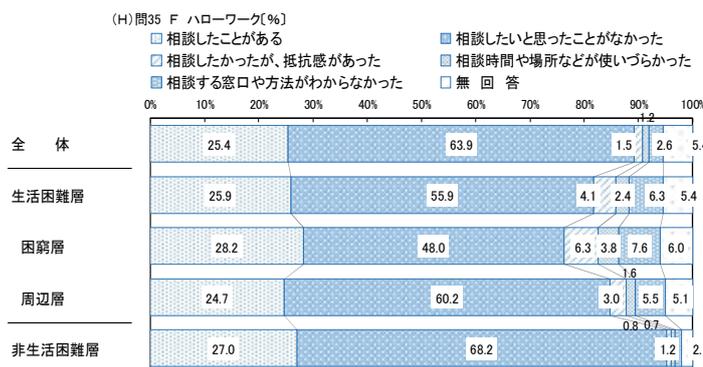


〔F ハローワーク〕

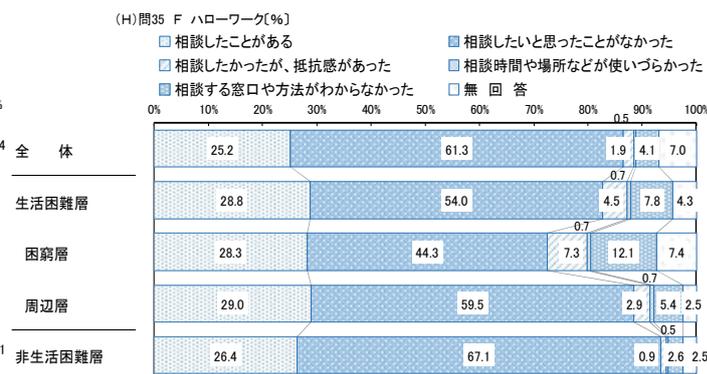
小学校5年生では、「相談したことがある」が25.4%で、「相談したいと思ったことがなかった」が63.9%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が2.6%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が55.9%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.3%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が25.2%で、「相談したいと思ったことがなかった」が61.3%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.1%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が54.0%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.8%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者

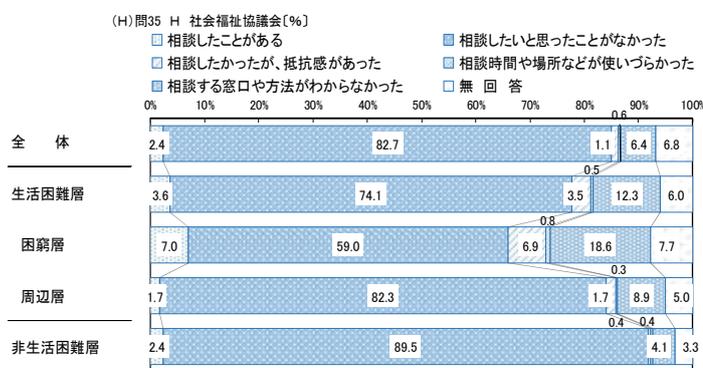


〔H 社会福祉協議会〕

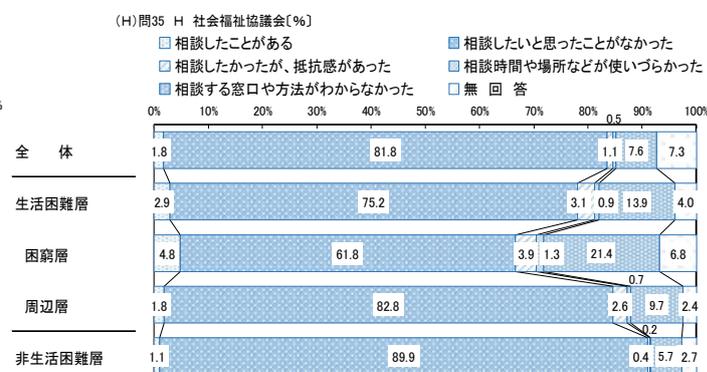
小学校5年生では、「相談したことがある」が2.4%で、「相談したいと思ったことがなかった」が82.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.4%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が74.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が12.3%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が1.8%で、「相談したいと思ったことがなかった」が81.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.6%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が75.2%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が13.9%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



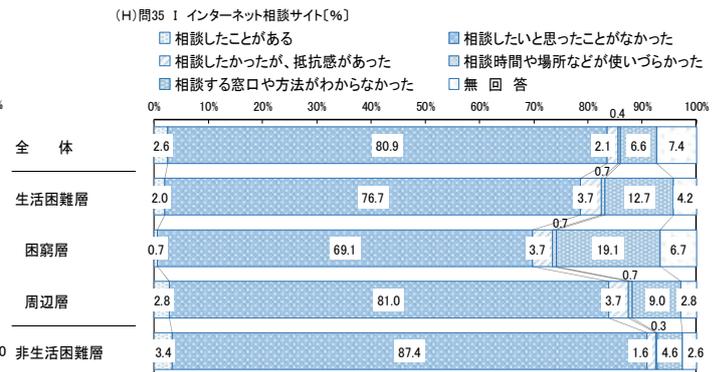
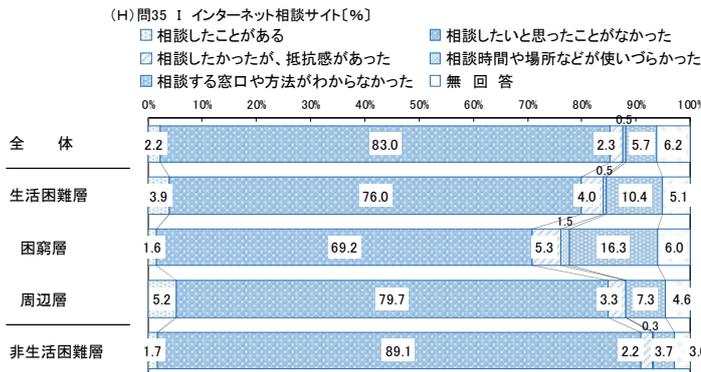
〔I インターネットの相談サイト〕

小学校5年生では、「相談したことがある」が2.2%で、「相談したいと思ったことがなかった」が83.0%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が5.7%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が76.0%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が10.4%となっています。

中学校2年生では、「相談したことがある」が2.6%で、「相談したいと思ったことがなかった」が80.9%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.6%となっています。生活困難層で「相談したいと思ったことがなかった」が76.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が12.7%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



第7章 保護者の状況

1. 回答者・保護者の状況

(1) 婚姻状況

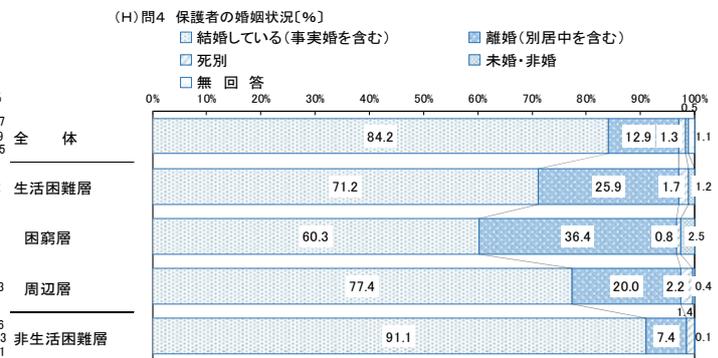
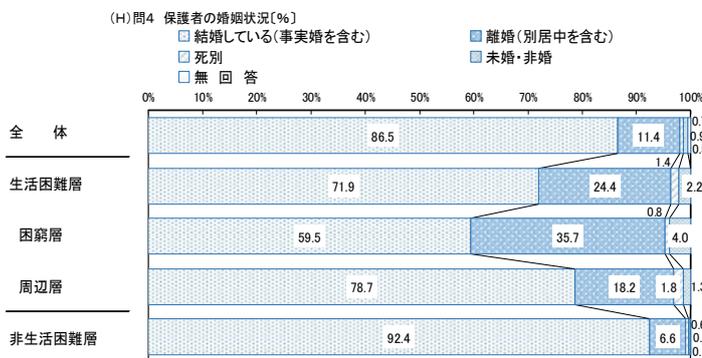
保護者設問：現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（問4）

小学校5年生保護者では、「結婚している（事実婚を含む）」が86.5%となっています。生活困難層で「結婚している（事実婚を含む）」は71.9%となっています。

中学校2年生保護者では、「結婚している（事実婚を含む）」が84.2%となっています。生活困難層で「結婚している（事実婚を含む）」は71.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



(2) (主観的) 健康状態

保護者設問：あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。（問12）

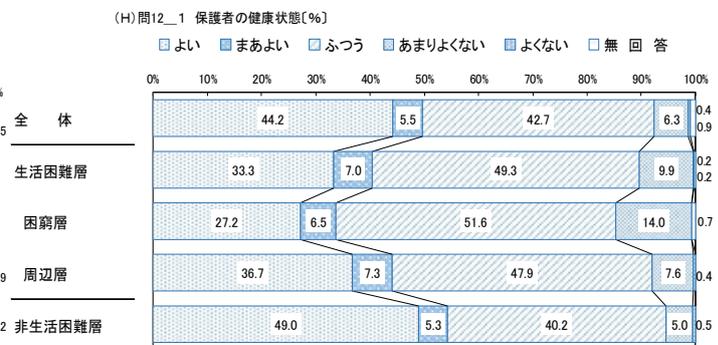
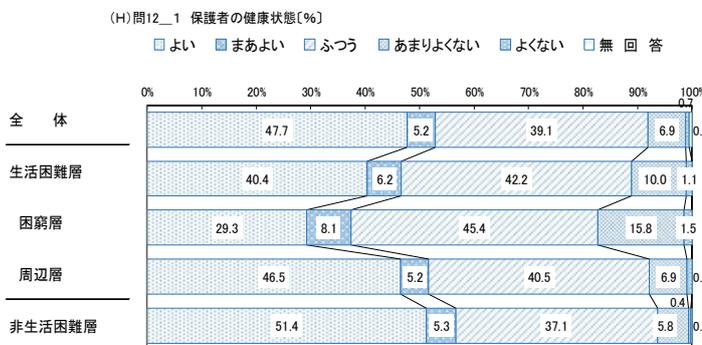
[1] あなた（回答者）の健康状態

小学校5年生保護者では、「よい」が47.7%、「ふつう」が39.1%となっています。生活困難層で「ふつう」が42.2%、「よい」が40.4%となっています。

中学校2年生保護者では、「よい」が44.2%、「ふつう」が42.7%となっています。生活困難層で「ふつう」が49.3%、「よい」が33.3%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



(3) 心の状態

保護者設問：次のA～Fの質問について、あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。
(問15)

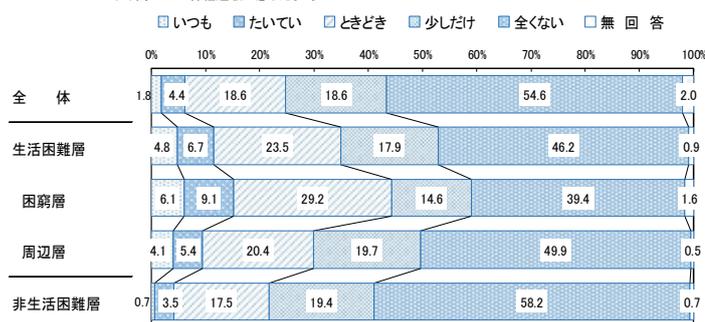
〔A 神経過敏に感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が54.6%、「ときどき」と「少しだけ」がともに18.6%となっています。生活困難層で「全くない」が46.2%、「ときどき」が23.5%となっています。

中学校2年生保護者では、「全くない」が56.5%、「少しだけ」が18.7%となっています。生活困難層で「全くない」が52.3%、「ときどき」が19.4%となっています。

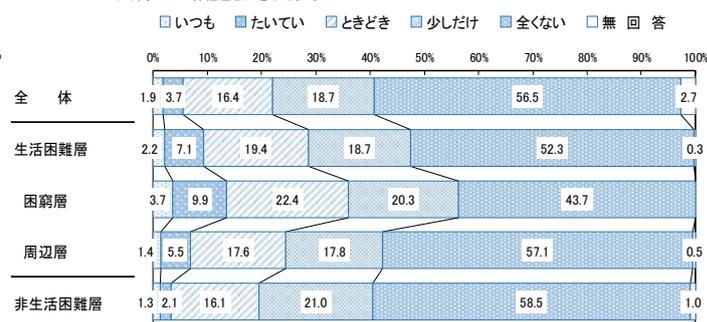
小学校5年生保護者

(H)問15 A 神経過敏に感じた[%]



中学校2年生保護者

(H)問15 A 神経過敏に感じた[%]



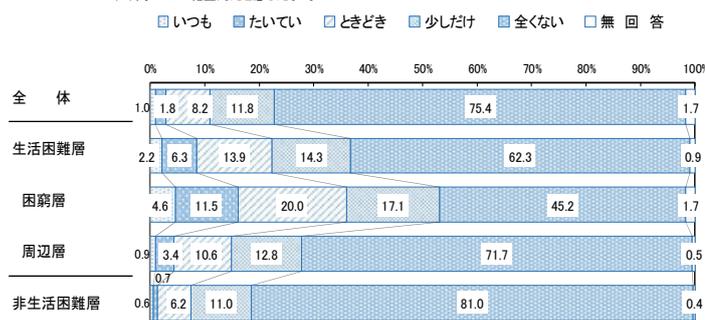
〔B 絶望的だと感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が75.4%、「少しだけ」が11.8%となっています。生活困難層で「全くない」が62.3%、「少しだけ」が14.3%となっています。

中学校2年生保護者では、「全くない」が72.5%、「少しだけ」が13.5%となっています。生活困難層で「全くない」が61.3%、「少しだけ」が18.3%となっています。

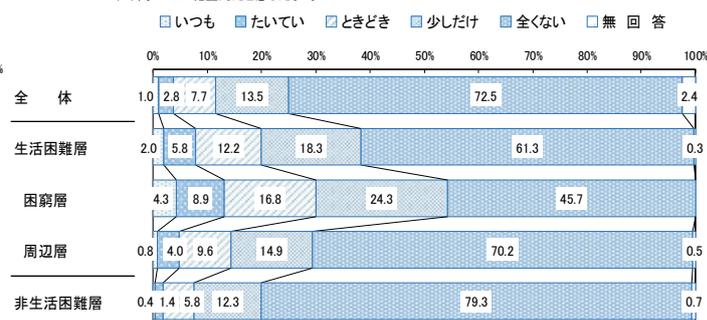
小学校5年生保護者

(H)問15 B 絶望的だと感じた[%]



中学校2年生保護者

(H)問15 B 絶望的だと感じた[%]



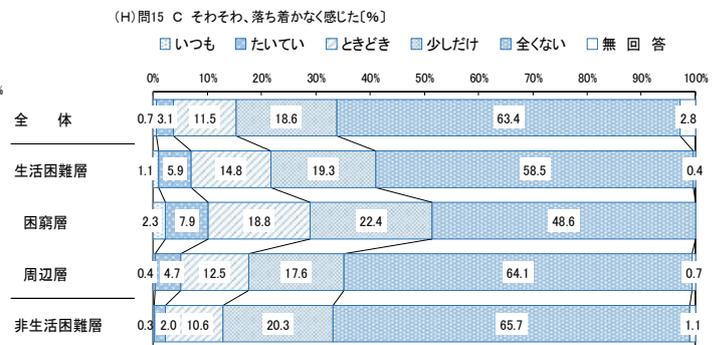
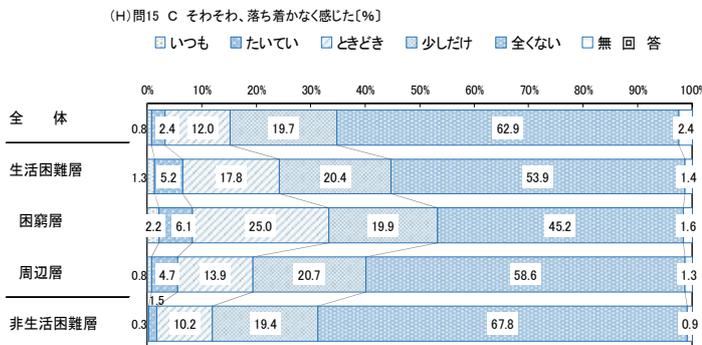
〔C そわそわ、落ち着かなく感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が62.9%、「少しだけ」が19.7%となっています。生活困難層で「全くない」が53.9%、「少しだけ」が20.4%となっています。

中学校2年生保護者では、「全くない」が63.4%、「少しだけ」が18.6%となっています。生活困難層で「全くない」が58.5%、「少しだけ」が19.3%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



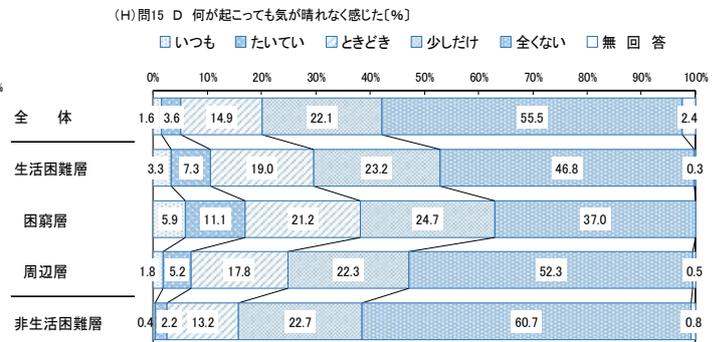
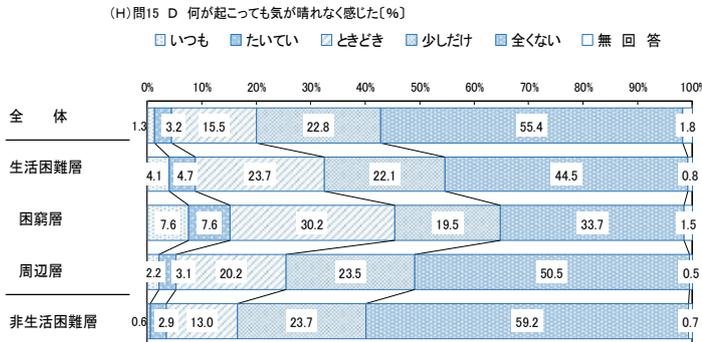
〔D 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が55.4%、「少しだけ」が22.8%となっています。生活困難層で「全くない」が44.5%、「ときどき」が23.7%となっています。

中学校2年生保護者では、「全くない」が55.5%、「少しだけ」が22.1%となっています。生活困難層で「全くない」が46.8%、「少しだけ」が23.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



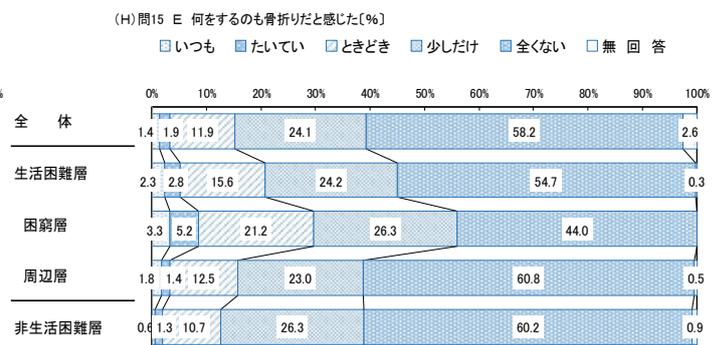
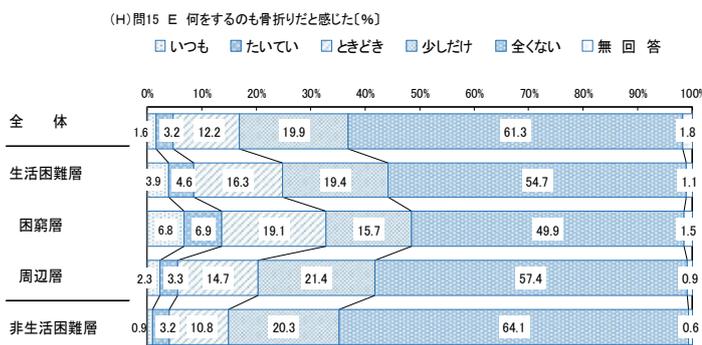
〔E 何をするのも骨折りだと感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が61.3%、「少しだけ」が19.9%となっています。生活困難層で「全くない」が54.7%、「少しだけ」が19.4%となっています。

中学校2年生保護者では、「全くない」が58.2%、「少しだけ」が24.1%となっています。生活困難層で「全くない」が54.7%、「少しだけ」が24.2%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者



〔F 自分は価値のない人間だと感じましたか〕

小学校5年生保護者では、「全くない」が73.3%、「少しだけ」が13.6%となっています。生活困難層で「全くない」が63.6%、「少しだけ」が17.6%となっています。

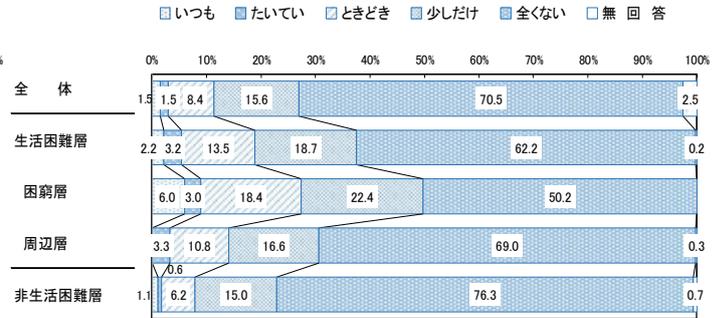
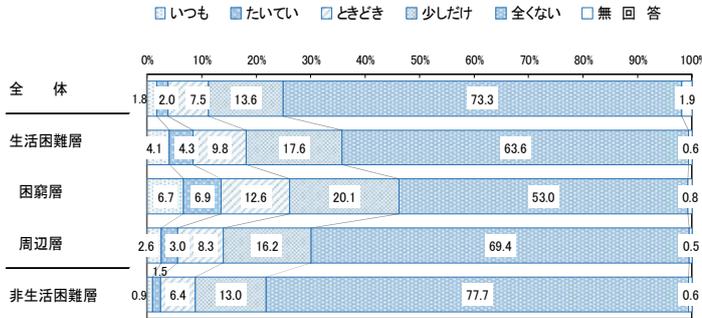
中学校2年生保護者では、「全くない」が70.5%、「少しだけ」が15.6%となっています。生活困難層で「全くない」が62.2%、「少しだけ」が18.7%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問15 F 自分は価値のない人間だと感じた[%]

(H)問15 F 自分は価値のない人間だと感じた[%]



(4) 15歳の頃の(主観的)暮らし向き

保護者設問：あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものを教えてください。(問30)

小学校5年生では、「普通」が56.0%、「やや苦しかった」が17.9%となっています。生活困難層で「普通」が44.2%、「やや苦しかった」が24.1%となっています。

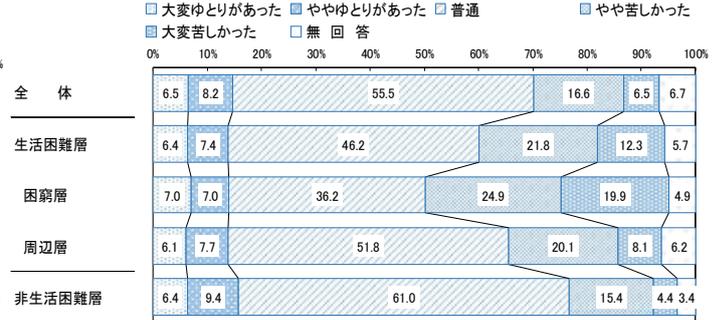
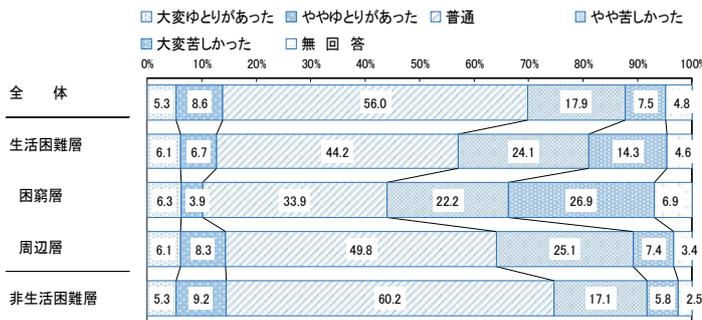
中学校2年生では、「普通」が55.5%、「やや苦しかった」が16.6%となっています。生活困難層で「普通」が46.2%、「やや苦しかった」が21.8%となっています。

小学校5年生保護者

中学校2年生保護者

(H)問30 15歳当時の暮らし向き[%]

(H)問30 15歳当時の暮らし向き[%]



2. 子どものいる世帯の状況

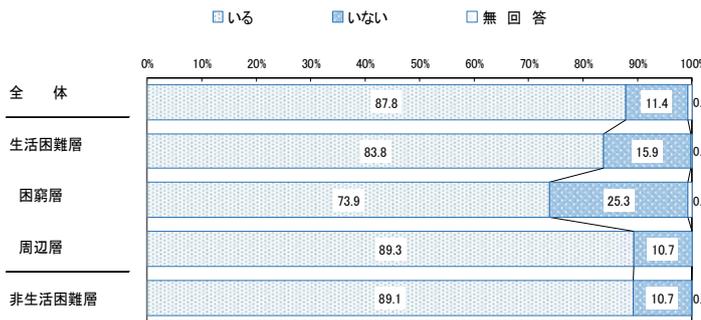
(1) 頼れる親族・友人の有無

保護者設問：お子さんが病気や用事など、ご自身の用事など頼れる親族や友人などがいますか。（問8）

小学校5年生保護者では、「いる」が87.8%となっており、生活困難層で83.8%となっています。
 中学校2年生保護者では、「いる」が85.8%となっており、生活困難層で82.2%となっています。

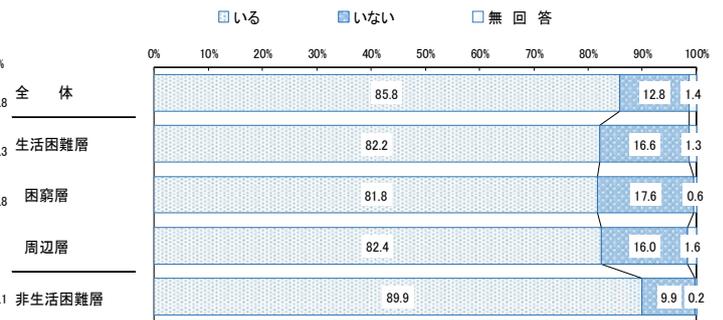
小学校5年生保護者

(H)問8 子どもの病気や用事などで頼れる親族・友人の有無[%]



中学校2年生保護者

(H)問8 子どもの病気や用事などで頼れる親族・友人の有無[%]



3. 保護者の就業状況

(1) 母親の職業

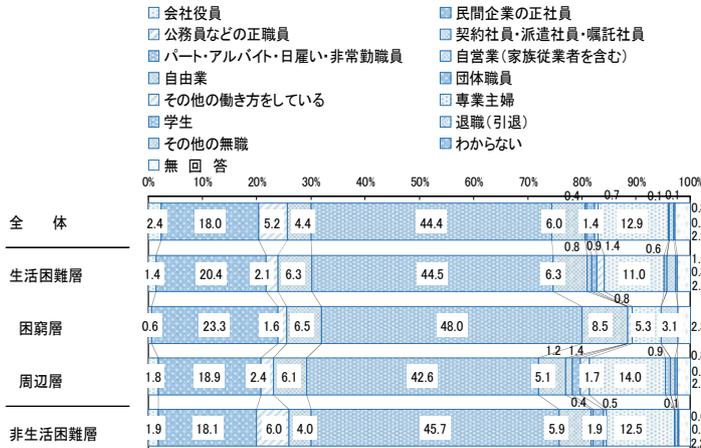
保護者設問：お子さんのお母さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。（問9）

小学校5年生保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.4%、「民間企業の正社員」が18.0%となっています。

中学校2年生保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.8%、「民間企業の正社員」が19.5%となっています。

小学校5年生保護者

(H)問9 母親の現在の職業[%]



中学校2年生保護者

(H)問9 母親の現在の職業[%]



保護者設問：お仕事をされているお母さま 1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(問9-1)

小学校5年生保護者では、就労時間は、「40～50時間未満」が30.1%、「20～30時間未満」が25.1%となっています。生活困難層で「40～50時間未満」が34.7%となっています。

中学校2年生保護者では、就労時間は、「40～50時間未満」が32.0%、「20～30時間未満」が23.8%となっています。生活困難層で「40～50時間未満」が31.9%となっています。

保護者設問：お仕事をされているお母さま 昨年1年間(平成30年1月～12月)を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか。
(問9-2)

小学校5年生保護者では、税込収入は、「103万円未満」が35.7%「130万～200万円未満」が12.0%となっています。生活困難層で「130万～200万円未満」が18.0%となっています。

中学校2年生保護者では、税込収入は、「103万円未満」が35.6%、「130万～200万円未満」が14.7%となっています。生活困難層で「130万～200万円未満」が19.5%となっています。

保護者設問：お仕事をされているお母さま 平日の日中以外の勤務がありますか。(問9-3)

小学校5年生保護者では、平日の日中以外の勤務状況は、「土曜出勤」が45.6%、「平日の日中以外の勤務はない」が44.3%となっています。生活困難層で「土曜出勤」が54.7%、「日曜・祝日出勤」が39.5%となっています。

中学校2年生保護者では、平日の日中以外の勤務状況は、「土曜出勤」が47.2%、「平日の日中以外の勤務はない」が40.4%となっています。生活困難層で「平日の日中以外の勤務はない」が36.6%となっています。

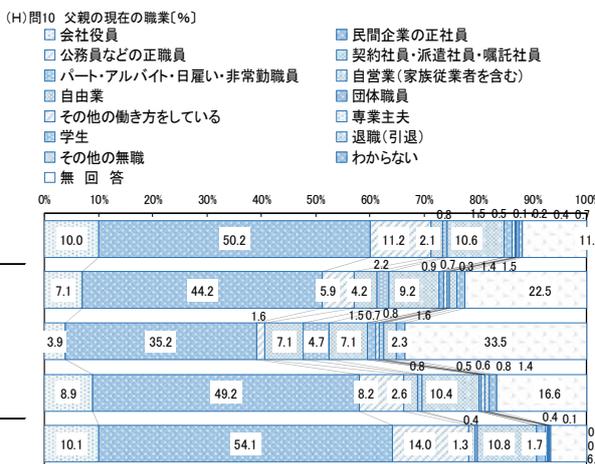
(2) 父親職業

保護者設問：お子さんのお父さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。(問10)

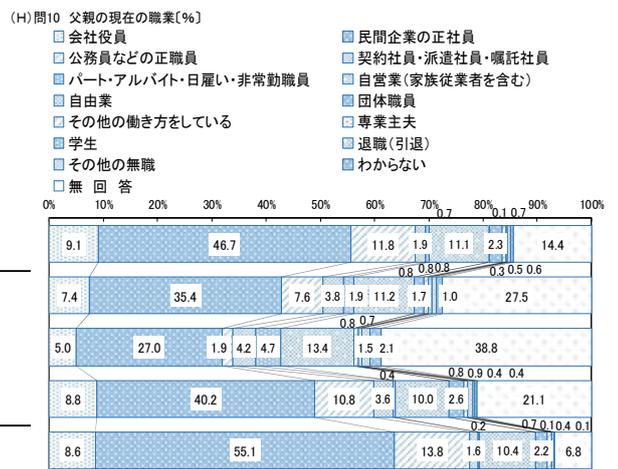
小学校5年生保護者では、「民間企業の正社員」が50.2%、「公務員などの正職員」が11.2%となっています。生活困難層で「民間企業の正社員」が44.2%、「自営業(家族従業者を含む)」が9.2%となっています。

中学校2年生保護者では、「民間企業の正社員」が46.7%、「公務員などの正職員」が11.8%となっています。生活困難層で「民間企業の正社員」が35.4%、「自営業(家族従業者を含む)」が11.2%となっています。

小学校5年生保護者



中学校2年生保護者



保護者設問：お仕事をされているお父さま 1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(問 10-1)

小学校5年生保護者では、就労時間は、「40～50時間未満」が46.5%、「50時間以上」が37.5%となっています。

中学校2年生保護者では、就労時間は、「40～50時間未満」が44.3%、「50時間以上」が38.4%となっています。

保護者設問：お仕事をされているお父さま 昨年1年間（平成30年1月～12月）を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。
(問 10-2)

小学校5年生保護者では、税込収入は、『300万円未満』（「収入なし」「103万円未満」「103万～130万円未満」「130万～200万円未満」「200万～300万円未満」の計、以下同様）が6.8%となっており、生活困難層では19.0%となっています。

中学校2年生保護者では、税込収入は、『300万円未満』が7.1%となっており、生活困難層では18.5%となっています。

保護者設問：お仕事をされているお父さま 平日の日中以外の勤務がありますか。(問 10-3)

小学校5年生保護者では、平日の日中以外の勤務状況は、「土曜出勤」が66.4%、「日曜・祝日出勤」が48.8%となっています。生活困難層で「土曜出勤」が72.7%、「日曜・祝日出勤」が52.2%となっています。

中学校2年生保護者では、平日の日中以外の勤務状況は、「土曜出勤」が61.9%、「日曜・祝日出勤」が46.5%となっています。生活困難層で「土曜出勤」が64.5%、「日曜・祝日出勤」が50.0%となっています。